關大

発行所 関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人 金田雅一
電話 06(388)1121代表
振替口座大阪3-55594番

100周年事業にはずみを！

募金活動の活発化へ

新執行部の協力体制確立

校友会募金本部会議の第三回常任委員会が、四月二十六日午後五時半から大阪駅前第一生命ビル十二階の好文クラブで、樫本信雄校友会長以下副会長、正副部長が出席して開かれた。

新執行部発足にともなう募金本部会議の役員選出、同じく法人の設置する募金本部会議構成メンバー選出が行われ、別項のように決まった。また募金活動を活発に推進する必要があり、当面の問題を決定するため五月二十八日に募金本部会議を開くことになった。

さらに本部役員が率先して募金に応じるため、まだ申し込みをしていない代議員は二口十万円以上の申し込みをお願いしたいと、協力を依頼することを決め、依頼状を発送した。

◇募金本部会議▽本部長、樫本会長▽副本部長、田村徳夫副会長▽常任委員長、荒井広副会長▽常任副委員長、篠原昭三副会長

◇法人の募金実行本部会議の構成メンバー▽樫本会長▽荒井副会長▽金田雅一事務局長

これによって新執行部の募金協力体制が確立、まず強力で積極的な運動が繰り広げられるが、支部組織も着々と活動を進めている。

伊丹支部（尾原淳夫支部長、武田丈蔵支部一〇〇周年特別委員会委員長）は三月四日、特別委員会役員打合会を開き今後の募金活動について協議、さらに強力に推進するため次のことを決定した。

個別訪問して呼びかけ

㈠募金状況 申込会員五十二人、二百七十七万円 委員外の会員、若年会員も相当申し込みがあり、全市に広く熱意のある会員がいるので、活動をさらに積極的に進める。

㈡募金活動の推進▽第二期募金活動を三、四、五の三カ月とする。（昨年末までが第一期）▽まず重点的に大学委嘱の募金委員に全員応じてもらうよう、ブロック別の特別委員会委員が、二人程度のチームを組んで少なくとも二回以上、訪問する。もちろん他の会員にも呼びかける。▽支部の募金委員、役員、幹事でまだしていない人は、早急に申し込むようにする。▽市役所会員の申し込みについては募金委員が積極的に働きかける。▽中間報告、検討会として近く特別委員会役員会を開催する。

福岡支部（岡崎隆雄支部長、花田正利募金委員）は四月十九日の総会で、百万円の募金申し込みを確保したが、さらに目標二百万円に向けて運動を展開している。このため次のような趣旨の文書を会員に配布、協力を求めることになった。

われわれ関大出身者としては母校の発展を願ってやまないわけだが、私学の雄として他校に負けない創立一〇〇周年記念事業を成功させたいと念じている。総会で支部会員一人一人の力を結集して募金に協力することを決議した。▽募金金額は一口、五万円が望ましいが、支部としては一口、五千円とし、何口でも応募してもらい、全員参加を目指し、応募しやすい体制とした。▽払込方法 一括払い、分割払いがある。振込用紙を五枚同封するので最寄りの福岡相互銀行に振り込んでもらいたい。▽払込期限 六十一年四月の支部総会に報告するため六十一年三月末とする。（関連記事2面に掲載）

記念事業委を設置

全学で実行計画を策定

関西大学は創立一〇〇周年の記念事業などの計画の策定、実施を総括するため記念事業委員会を置くことを四月二十六日の理事会で決定した。

同委員会は理事および監事、評議員会の議長、副議長、および各委員会委員長、学長はじめ教学の役職者、校友会の会長、副会長、部長および事務局長、教育後援会、高等学校の後援会と父兄会、中学校PTA、幼稚園母の会の会長ら全学の関係者で構成される。委員長は理事長、副委員長には副理事長、評議員会議長、学長、校友会長、教育後援会長があたる。

記念事業委員会のもとに記念事業実行委員会、また実行委員会のもとに記念事業ごとの専門委員会が置かれる。

実行委員会は専門委員会で企画、立案した記念事業等の実行計画案につき、必要に応じて関係機関と協議、調整を行い、実行計画を策定、実施を推進する。

第一回の記念事業委員会は五月十三日午後三時から東急ホテルで開かれた。

《校友会関係の委員》

◇記念事業委員会委員 樫本信雄会長▽田村徳夫、荒井広、篠原昭三各副会長▽徳山喜昭総務、上原洋允事業、篠原茂一広報、宝田重幸組織、山本守昭財務各部長▽金田雅一事務局長

◇記念事業実行委員会委員 樫本信雄会長▽荒井広副会長▽金田雅一事務局長

巨大企業が5割増

昨年度、本学の就職状況

就職戦線は、昨五十九年度久し振りに学生にとって好調に推移した。日本リクルートセンターの集計によると、就職戦線の動向を決定的に左右する上場企業約一八〇〇社の昨年の大学卒採用計画は、一昨年にくらべて約一九％（技術系二二％、事務系一四％）の増加となっていた。

四人に一人は巨大企業

本学学部学生の上場企業への就職者は、昨年は一三八四人で、一昨年の九二七人にくらべて四九％の増加となっている。就職部での集計は、正式には従業員数による企業規模別で行っているが、それによると巨大企業（従業員三千人以上）[illegible]手するまでにいたっていないが、日本リクルートセンターが本年三月十九日に発表した全国男子大学卒の就職実態調査によると、民間企業就職者の中で、従業員千人以上の大企業に就職した者の割合は、全国平均五四・四％で、一昨年（五二・二％）にくらべて二・二％の増加となっている。

リクルートセンターの調査と就職部の集計とでは、企業規模別の区分に相違があるが、本学の場合、民間企業就職者の中で、従業員三千人以上の巨大企業に就職した者の割合は、昨年は二六・九％（男子のみは二[illegible]査は速報的なものだから断定的なことはまだいえないが、以上のデータによれば、昨年の本学の就職状況は、上昇の度合においては、他大学とくらべても、かなりの好成績であったものと考えられる。

就職も〝私高国低〟

リクルートセンターの前記の就職実態調査は、『私大の大企業就職増加』（神戸新聞）といった見出しで報じられたものである。同調査をさらにみてみると、従業員五千人以上の巨大企業へ就職した者の割合は、国公立大学では昨年四九・[illegible]となっている。

私立大学の中でも本学の巨大企業就職率の増加は、前述のようにきわめて高いものであったが、一般的にも私立大学の就職は近年、国公立大学にくらべて好調で、企業の人事関係者の私立大学に対する関心はとみに高まっている。これにはおよそ二つの理由が考えられる。

第一は、共通一次入試により国公立大学生のレベルが、総体としては私立大学生にくらべて低下し、私立大学生のレベルが向上していること。共通一次入試第一期生が大学四年生となり、就職を迎えたのは昭和五十七年であったが、その年の就職戦線終了後に、企業の人事関係者の間で、共通一次により国公立大学生のレベルが相対的に低下したという声がきかれ、〝私高国低〟ということが盛んにいわれた。

第二は、最近各企業では企業発展のために多様な人材を求める傾向が強く、旧来、国公立大偏重の採用を行ってきた企業で、私立大学に優秀な人材を求めるところがきわめて多くなっていることである。

ちなみに日経ビジネス誌本年一月二十一日号は、東大出身者の多い企業で企業成長の低いところが実に多いことを指摘し、私大のガンバリが日本企業を救う旨を書いている。私立大学出身者のようなバイタリティのない国公立大偏重では、企業のいのちとりになりかねないことがようやく意識されるようになったのだ。就職においても今や私立大学の時代が来ている。

こうした私立大学全体のレベルアップのなかで、本学は昨年とくに好成果を収めたが、もとよりそれはまださささやかなものである。全体的な就職レベルはまだまだ低いもので、今後も格別の努力が必要とされるが、このような成果も、校友諸氏のこれまでのご活躍、ご支援によってはじめてもたらされたものである。この機会に厚くお礼申し上げるとともに、今後もいっそうのお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げる次第です。

（就職部長・商学部教授 **大橋昭一**）

春の叙勲

政府は四月二十九日付で六十年春の叙勲を、また叙勲に先立ち褒章受章者を発表した。これまで校友会事務局で確認した本学関係者を掲載します。（調査漏れがあるかと思います。校友のご協力を得て補足、充実をはかりたい）（関連記事3面にも掲載）

◇勲二等瑞宝章

松野幸吉氏（七九）日本ビクター㈱会長、5大予、8大法＝東京都渋谷区西原3丁目47―9

◇勲三等瑞宝章

近藤正巳氏（七〇）元公証人、元高検支部長、11専2法＝岡山市津島西坂1―5―28―101

◇勲四等旭日小綬章

友松芳郎氏（七七）関西大学名誉教授＝神戸市東灘区御影町郡家堂前179―1

◇勲四等瑞宝章

長谷川秀雄氏（七〇）元検察審局長、8二商、11専2法＝枚方市藤阪西町1―2―301

◇勲四等瑞宝章

児玉市太郎氏（七四）元和歌山労働基準局長、6大予、9大法＝奈良県生駒郡三郷町勢野1619―30

森本守夫氏（七〇）元大阪市消防正監、臨16専2法＝大阪市住吉区帝塚山西2丁目8―31

褒章受章

◇藍綬褒章

中司文一氏（五六）貝塚市議会議員、26学1経＝貝塚市海塚3丁目2―17

◇黄綬褒章

大橋正信氏（六八）建具製造大橋建具店、13大予2、16大法＝奈良市押上町5

溝上満好氏（六七）弁理士、25高2普、29学2法＝茨木市美沢町15―18

吉田修之氏（六七）種苗業、㈱大和農園社長、16大予2、18大経＝天理市平等坊町一一〇

61年度入試概要決まる

関西大学の六十一年度入学試験実施概要が決まった。募集学部、学科、人員、試験期日、試験地は次のとおり。

◇第一部（昼間部）

法学部 法律学科、政治学科 六〇〇名

文学部 英文学科、国文学科、哲学科、仏蘭西文学科、独逸文学科、史学・地理学科、中国文学科、教育学科 六〇〇名

経済学部 経済学科 六〇〇名

商学部 商学科 六〇〇名

社会学部 社会学科 六〇〇名（社会学専攻、産業心理学専攻、マス・コミュニケーション学専攻、産業社会学専攻）

工学部 機械工学科、機械工学第二学科、電気工学科、電子工学科、化学工学科、応用化学科、金属工学科、管理工学科、土木工学科、建築学科 九二〇名

◇第二部（夜間部）

法学部 法律学科、政治学科 一三〇名

文学部 英文学科、国文学科、哲学科、仏蘭西文学科、独逸文学科、史学・地理学科、中国文学科、教育学科 八〇名

経済学部 経済学科 一三〇名

商学部 商学科 八〇名

社会学部 社会学科 八〇名

◇試験期日・試験地

本学試験（大阪）▽法学部（第一部・第二部）二月一日（土）▽商学部（第一部・第二部）二月二日（日）▽工学部（第一部）二月三日（月）▽経済学部（第一部・第二部）二月四日（火）▽社会学部（第一部・第二部）二月五日（水）▽文学部（第一部・第二部）二月六日（木）

▽地方試験 全学部（第一部・第二部）試験場＝札幌、東京、金沢、名古屋、広島、高松、福岡 二月二日（日）

◇代議員会歴代議長懇

校友会代議員会の歴代議長懇談会が四月十五日正午から堂ビルの清交社で初めて開かれ、歴代議長の西村治三郎、安富敬作、松村睦鴻、矢野文雄、植垣幸雄の各参与、村上精三議長、世話役として和田栄重副議長が出席して懇談した。

▼関大人事4月1日付

関西大学部落問題研究所長 教授 松岡保

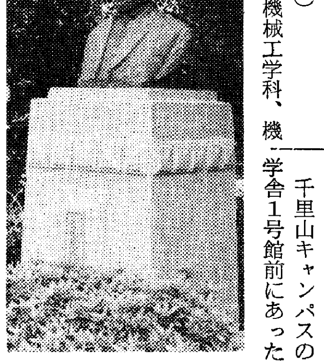
山岡先生の胸像

総合図書館前に移転

千里山キャンパスの第二学舎1号館前にあった山岡順太郎先生の胸像が、このほど総合図書館前の道路ぎわに移された。

山岡先生は大正末期、総理事・学長として今日の千里山キャンパスを拓き、大学令による大学への昇格に尽力するとともに、教育理念として学理と実際の調和、いわゆる本学の伝統的学風、「学の実化」を提唱した。

1号館前は樹木が繁って暗くなり、胸像がみえにくくなったので総合図書館開館を機に、道路近くまで移し、そばに花木を植え、石を配して明るくした。



移転した山岡先生の胸像

関西大学総合図書館・情報処理センター開館式

第2学舎で盛大に行われた式典

総合図書館・情報処理センターの開館式

関大の叡知ここに

温故知新に向けて邁進

関西大学総合図書館・情報処理センターの開館式が、四月二十八日午前十一時から第2学舎1号館301教室で行われた。同図書館・同センターはすでにオープンしているが、この日、正式な開館セレモニーが行われた。

出席したのは大学、法人、他大学の学長・図書館関係者、校友会、教育後援会、千寿会、体育OB会、事務職員ら二百余人。

式典で大西昭男学長は「関西大学創立一〇〇周年を来年にひかえ開館したことは『天の時』を得た。六学部からほぼ等距離のところに建てられたことは『地の利』を得たといえる。由緒ある第一グラウンドを割愛された関係各位の決断に心から謝意と敬意を表したい。まさに『人の和』のもたらした快挙である。私たちは温故知新に向かって邁進していくつもりである。仏をつくって魂を入れる努力がこれからはじまる」と式辞を述べた。

名取栄史図書館長は「この図書館は関大人の叡知と努力を傾けて完成した。一〇〇年の関大の歴史の積み重ねである」、辻岡美延情報処理センター所長は「21世紀は高度情報社会といわれる。図書館と情報処理センターが、同じ建物に建築されたことは大変、意義がある」とあいさつ、私立大学連盟代表の浜田稔愛知大学長から祝辞が述べられ、式典が終わった。

正面入口でのテープカット

記念碑も除幕

このあと、総合図書館正面階段の左手につくられた記念碑（横一・八㍍、高さ一・〇五㍍の花崗岩に銘板がはめ込まれている。碑文は別項、撰文は藤本是文学部教授）の除幕が久井忠雄理事長、大西学長、保健体育委員会委員長・田中行雄工学部教授、藤本文学部教授、体育OB会代表・北尾郁之介氏によって行われた。

続いて正面入口で、久井理事長、大西学長、名取図書館長、辻岡情報処理センター所長によりテープカットが行われた。

披露パーティーは三階一般閲覧室で催され、木枝燦同志社大学学長の発声で乾杯、来賓の祝辞などがあった。

花崗岩に銘板がはめ込まれた記念碑

記念碑の碑文

見上げれば紺碧の空があった。地上には世界に奮こうとする意志と希望とがあった。またこれを支援しようとする人々の熱意と善意とがあった。

この地は、大正十五年、元総理事・学長故山岡順太郎先生の、学の興隆と体育の奨励を願った教育理念を達成すべく、私財を投じてまでのご熱意によって、運動場として建設されたものである。当時、東洋一の大グラウンドと謳われ、爾来幾多の名選手がここから世界へと雄飛した。その彼等の逞しく爽やかな汗を滲ませたこの地は、関西大学の全学園生活の中心として、大学祭その他大学における行事の場として、極めて重要な機能をはたしてきた。

いま、この地は、総合図書館並びに情報処理センターの建設とともに、新しく生まれ変わろうとしている。

希わくば、栄光あるこの地が、再び、来るべき世紀を担って世界に飛翔しようとする現代の若人達の新たな教育の場として、知育・徳育・体育の真に健全な連繋をうち樹てるべき架橋の場とならんことを。

昭和六十年四月吉日

関西大学

葦の葉

「五月晴」さみだれの晴間、五月の空の晴れわたること（広辞苑）▼今年のゴールデンウイークは曜日の並びが最高のパターンとなり、例年になく大型連休となった。企業により十連休のところも現われているが連休の話題は、「遊び下手で長い休みは持て余す」というのが平均的日本人の本音らしい▼この季節、新入社員が慣れない職場環境などの不安と期待から陥る「五月病」の時期ともいわれる。新校友五、〇〇〇余人、卒業と同時にそのほとんどが社会のあらゆる分野へ進出したと思われる▼ところで卒業―新入社員のパターンのなかで昭和初年にかかわらず大学制度に波紋をなげた末弘厳太郎博士の提言がいまも生きている。博士いわく、「私は今の大学から卒業なる制度を全廃すべしと主張したい」その理由は学生がいかなる学科を学習するか修業年限をどうするかはすべて彼の選択にゆだねればよく学生により自分の必要とする二、三の学科を学習して退学するものもあろうしある学生は長期在学するだろう。すべての学生に対して同じことを強制する必要はないというのである▼「形式的な試験によって『学士』という商標をつけた商品を世の中に送り出すことを大学に要求したのは『明治』と称する特異の社会であった。現在のように社会一般の知識が進んでくると、ただ『学士』であることそれ自体はもはやなんらの価値ももたない。」（法窓雑誌）▼五月病巣も卒業制度とは無関係ではないように思われる。大型連休もすぎた今日「マンホールのふたはなぜ丸い？」（中村義作著、日本経済新聞社刊）は肩の荷が下りておもしろい。五月病も消えるでしょう▼さみだれのそそぐ山田に早乙女が裳裾ぬらして玉苗植うる夏は来ぬ―佐々木信綱―。

創立100周年
シンボルマーク

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館 ぴっ
心斎橋店2階

メガネ 大学堂
●京橋店 ●心斎橋店
●阪神百貨店 ●虹のまち店

67年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市東区北浜3丁目39番地
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
大阪駅前店（第一生命ビルB1）☎(06)341-0792
近鉄百貨店（上本町店・枚方店・奈良店）

〝ギフト最適〟
明るさ、新しさ、豊かさを誇る
パース・カバン・ハンドバッグ専門卸商社
株式会社 廣島屋
代表取締役社長 藏田廣造
（昭25学1経）
本社 〒541 大阪市東区博労町1-26
TEL 06-(261)-2431
営業所 大阪・東京

関西大学出版部 取扱 新刊案内

この新刊案内は昭和五十九年三月以後に刊行の新刊書です。
■出版目録送呈

サマセット・モームの小説群

越川正三 著

サマセット・モームのすべての小説を年代順に考察した。彼の小説の特色である作者の代弁者がそれぞれの作品において果たしている役割、人物の配置、物語のパターンなど構成面から観察しつつ、モームがどのような人間観と人生観を小説に書き込んだかを探っていくという方法をとった。モームの小説群に関する系統的な研究である。

A5判 上製函入 四四四頁 定価六、〇〇〇円 〒300

台湾漢人村落の社会経済構造

石田浩 著

本書は、台湾をフィールドとする農村実態調査を通じて、中国農村の社会経済構造を解明しようとしたものである。台湾の漢民族は福建・広東等の華南地域から移住した者達で、彼らの形成する社会諸組織から、中国村落の社会構成原理の本質的性格を看取することが可能であり、この点にも台湾漢人村落研究の意義がある。

A5判 上製函入 三二六頁 定価五、八〇〇円 〒300

産業経済学

アルフレッド・マーシャル、メアリー・ペイリー・マーシャル 著
橋本昭一 訳

一八七九年に初版の出た、マーシャルの処女作を第二版（一八八一年）より訳出した。需給均衡理論をもって、価格、賃金、利潤を統一的に論じた最初の著述で、後の大作『経済学原理』の萌芽として、最近、再び注目を浴びはじめた著書である。本書執筆前後のマーシャルの略歴を、訳者解説として付した。

A5判 上製函入 三二六頁 定価五、二〇〇円 〒300

中国古兵器論叢

中国社会科学院考古研究所 楊泓 著
網干善教監訳 来村多加志 訳

中国古代武器の秀れた研究者である楊泓氏を本学が国際学術交流の目的で招聘したのを機会に同氏の名著『中国古兵器論叢』を日本語訳して出版した。日本古代武器の源流は中国にあるが、中国における武器の体系的な著書は少ない。本書は、第一章を「中国古代の甲冑」と題し、原始から殷周、漢、魏晋南北朝、隋、唐、宋にいたるまでの変遷を論述、以下各論に相当する第二章には「戦車と車戦」、第三章「騎兵と甲騎具装」、第四章 水軍と戦船、第五章 剣と刀、第六章 孫臏兵法にみる兵器と戦術についての論考である。なお付載として本学における講演要旨を掲載した。

B5判 上製函入 二一八頁 定価三、二〇〇円 〒300

関西大学東西学術研究所資料集刊

寶暦三年八丈島漂着南京船資料

―江戸時代漂着唐船資料集一―

大庭脩 編著

江戸時代に長崎以外の日本の土地に漂着した中国船に関する資料は、江戸鎖国時代人によって多量に記録、保存されているが、研究資料蒐集の関心が払われた形跡がなく、歴史研究のエア・ポケットになっている。本書は、標題に関する資料で、当時の流人画家の描いた肖像画、船の姿、八丈島に残る古文書、齎来書籍の大意書とその下書きなどをカラー版、影印、活版翻刻など資料に適した方法で復原、解題と書名索引を付す。

A5判 四九〇頁 定価四、八〇〇円 〒300

関西大学経済・政治研究所研究双書

経済民主主義と産業民主主義

大橋昭一 長砂實 編著

経済民主主義は、今日ますます重要な問題となっている。しかし経済民主主義も産業民主主義も一義的なものではない。本書は、アメリカ、ドイツにおけるこれまでの諸論調を明らかにするとともに、この問題を広い視野からとりあげ、企業経営と産業民主主義の関連をはじめ、社会主義における経済民主主義の問題にも言及する。

A5判 上製函入 三三二頁 定価三、五〇〇円 〒300

全巻完結

MANSFIELD PARK by JANE AUSTEN〈全三巻〉

関西大学ジェイン・オースティン研究会 編著

この小説は、英国18世紀のカントリー・ジェントリーと称せられる典型的な上流社会の生活を、内向的で感受性豊かな若き女性の目を通して描いた、近年注目を浴びる最も英国的な小説である。本書は、当時の風習や言語感覚を解明することにより、出来るだけ現代の読者との距離を近づけようとした、当研究会の研究成果を問う労作である。

吉田安雄 監修 各巻 B6判 上製 セット〒400

VOL・I 田中逸郎、島崎守、谷口義朗 編著 三八四頁 定価二、八〇〇円
VOL・II 小川静代、多田敏男、長谷川存古 編著 四〇〇頁 定価三、二〇〇円
VOL・III 大西昭男、奥村透、A.S.Gibbs、坂本武 編著 六八二頁 定価四、八〇〇円

関西大学東西学術研究所資料集刊

雨森芳洲全書〈全四巻〉

関西大学東西学術研究所歴史研究班 編

鎖国期のわが国では、長崎貿易と対馬外交とが二大対外活動だった。すぐれた語学の才をもって対馬藩に仕え、互恵対等の信念を貫いて生涯任地で活躍し、海彼にまでその名を知られた雨森芳洲（一六六八～一七五五）の詩文・随筆・外交関係資料・書翰類を集大成した。第一巻は朝鮮使節との唱酬詩文、第二巻は文集随筆、第三巻は朝鮮外交に関する史料および書翰類、第四巻は第三巻に収録できなかった「裁判記録」の続編など外交関係史料を収録した。各巻に解説を付す。

泉澄一 他解説 各巻 A5判・函入 セット〒450

縞紵風雅集（影印）四一八頁 二、九〇〇円
芳洲文集（影印）二八八頁 三、三〇〇円
芳洲外交関係資料書翰集（翻刻）三五〇頁 七、五〇〇円
続芳洲外交関係資料集（翻刻）二六四頁 四、三〇〇円

近刊

関西大学東西学術研究所資料集刊

享保時代の日中関係資料

―近世日中交渉史料集二―

大庭脩 編著

増刷出来

標識のある迷路

―現代日本文学史の側面―

谷沢永一 著

A5判 上製函入 四六六頁 定価三、〇〇〇円 〒300

◆ご購入は、一般書店にて注文扱でお願いします。（取次は東販・日販・大阪屋・鈴木）。なお、八重洲ブックセンター、地方小出版流通センター、三省堂書店神田本店、丸善日本橋店、丸善大阪支店、紀伊國屋書店梅田店、大阪ユーゴー書店、神戸ジュンク堂書店サンパル店、京都アバンティイズミヤには常備協力の依頼をしております。

◆直接本学にお申し込みの場合は、送料実費をいただきます。

〒564 大阪府吹田市山手町三―三―三五
電話（06）三八八―一一二一 振替（大阪）七―一二八七五
■関西大学出版部

北から南から

鳥取県西部支部が発足！

在県校友の親睦の輪

初代支部長に青砥順氏

鳥取県の西部地区では、昨年来高まっていた支部結成の機運がみのり、四月二十一日午後二時から、米子国際ホテルに米子市・境港市・日野郡・西伯郡の在住校友百十人中四十一人が参集、「鳥取県西部支部」の創立総会を盛大に開催した。

会場には鳥取支部長の君村嗣之、同幹事長、久本憲明の両氏も来賓としてかけつけ、「これまで東部を中心に活動してきたが、本日ここに西部でも支部が結成された。倉吉を中心とした県中部でも支部結成の機運が盛りあがっており、在県校友の親睦の輪が広がることは喜ばしいことだ。将来は県を単位とした連合支部も考えていきたい」と祝辞を贈った。

同地区では昨年秋、早稲田、慶応、同志社、立命など東西の大学校友会親睦野球大会が開催され、関大にも参加依頼があったため急ぎ野球チームを結成して参加した。これを機に支部結成の機運がいっきに盛りあがり、十月には十七人が集まって第一回世話人会を開催。半年間をかけ、世話人が手分けして各高校の卒業生名簿を手がかりに関大卒業生約百五十人を探し出した。二月には全員に往復はがきで、卒業年学部、現住所、勤務先等を照会。最終的に百十人の在住校友をリストアップした。

総会では、世話人の岡浩正氏を議長に選出、同、杉山行弘氏が支部結成に至る経過を報告。会則採択のあと役員を全会一致で選出、初代支部長に選ばれた青砥　順氏が「母校の名をけがさないためにも、他大学の支部に負けない組織にしていきたい。役員・会員の皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。

校友会長、学長、理事長他大学校友会支部よりの祝電披露のあと祝賀パーティーに移り、年代を越えて歓談、大学の思い出話に楽しいひと時を過ごした。

【支部役員】▽支部長＝青砥　順（27経米子信用金庫理事長）▽副支部長＝岡　浩正（36経、米子製鋼所）杉山行弘（36経、杉山酒店）▽幹事長＝佐々木馨（43経、勝田神社）▽会計監査＝中山英毅（39経、扶桑相互銀行）岩崎泰尚（38経、米子宇部コンクリート）▽幹事＝大滝伸高（日ノ丸自動車）戸田修（戸田組）八木橋柳一（八木橋呉服店）小笹俊郎（丸神海産）山田禎彦（境港市教育委員会）三島一男（フクダ電子）庄司広志（境港市商工会議所）松本允行（米子国際ホテル）松南憲治（米子商工会議所）岡本清治（山陰合同銀行）加納操（県信用農協連合会）中曽偉之（扶桑外材）▽顧問＝門脇治郎（5経）木村静夫（7法）

100周年募金

目標を2百万円に

福岡支部、3年ぶりの総会

福岡支部は六十年度総会を四月十九日午後七時から、福岡市の頤和園で金田雅一校友会事務局長、石丸武穂北九州支部長を迎え、校友三十七人が出席して三年ぶりに開催した。

同支部では毎年二〜三回、役員及び有志を中心に懇談会を開き旧交を暖めているが、来年の母校一〇〇周年記念事業に対し支部として協調することを決意し、総会での意思統一をはかるため開会した。

金田事務局長から母校の近況、一〇〇周年記念事業の経過報告と協力の要請を受けた。また福岡支部より一足先に募金運動に立ち上った北九州支部、石丸支部長から募金目標百万円を達成した同支部校友の熱意が披露された。

幹事から福岡支部として募金運動への協調参加の提案を受けた出席校友は全員賛成、直ちに用意されたアンケート用紙が回付され、応募金額を集約したところ、有額回答二十八人、九十八万円、金額未記入九人を含めて目標の百万円は確保できた。

今後、所在判明の校友に呼びかけ、目標二百万円へ向けて協力することを事務局長へ報告した。なお役員は、募金目標終了まで全員留任することに決定した。

議事終了後、開宴。円卓を囲み飲み放題の酒に酔いしれ、自己紹介とPRに拍手をおくるうち、岡橋支部長から家業のヘルメット販売に購入協力頂いた代金は、全額募金に協力したいという発言に、早速二十個の注文があった。

福岡地区校友で募金される方は左記へご連絡下さい。

〒816福岡市南区井尻五丁目四番五号
福岡相互銀行井尻支店、花田正利
TEL092―591―3838

守口支部で総会

守口支部総会並びに懇親会が四月十六日、守口市浜町の玉姫殿守口で盛大に行われた。

校友会本部から樫本会長、金田事務局長、藤本事務局次長、大学から稲野副理事長、また、枚方支部の西田秀吉副支部長、寝屋川支部の乙咩淑子副支部長ら来賓をはじめ、地元からは小浜道夫、山田昭和、市橋昭、木村久夫の各市議会議員、守口市役所純正会、三洋電機秀麗会、守口市の教員関大会などから八十余人の校友が参加した。

総会では、樫本会長、稲野副理事長が、来年の創立一〇〇周年にむけて、一層の協力をお願いすると現況をまじえてあいさつした。

案件の会則改正は全会一致で採択、組織強化が図られることになった。

懇親会は北村相談役の発声の乾杯で幕を開けスピーチに、カラオケに花を咲かせた。

恒例のジャンボ福引も会員から多彩な景品が提供され、全員はずれなしで、大いに盛り上がり、最終は会員が輪になって、逍遥歌を合唱した。

女子秀麗会が会報創刊

女子秀麗会（鈴木清子会長）が四月一日付で会報を創刊した。

B5版、4㌻。同会は創立七周年を迎え、組織や活動がますます充実、会の事業である結婚総合相談所では幹事の奉仕により、次々と新しいカップルが誕生している。来年は母校創立一〇〇周年を迎えるので、これを機会に会報を創刊した。

発送費等の予算上の問題もあり、当初は年一回の発行だが、徐々に充実させ、回数も増やしていきたい。

いつでも、どんな記事でも気軽に寄せてほしい、と同会広報部ではいっている。

なお創刊号は「女子秀麗会会報」と仮題をつけて発行したが、女子秀麗会の会報にふさわしい題名を会員から募集している。

東支部旗の入魂式

支部会員の結束とその発展を期し、支部大旗と小旗を新調した大阪東支部（片野総一郎支部長）は三月十六日の役員会当日、薩摩名誉支部長の店、本町美々卯で入魂式を行った。

一〇〇周年の募金推進〝東区草の根運動〟の具体策も討議し、今後、新支部旗を掲げて、若い校友にも支部活動への積極的な参加を呼びかけることを決定した。

なおこの支部旗は再度つくったもの。

親睦ゴルフコンペも開く

また四月二十九日には、関大のファミリーコース、オレンジシガCCで親睦ゴルフコンペを開き、校友会本部から篠原昭三副会長、片山久江常議員をゲストに迎え、四組十六人が腕を競った。

当日、新調の支部旗をクラブのメインポールに日の丸と並べて翻がえし、ごきげんの記念撮影をし、ファミリーコースならではの楽しいプレーで一日を過ごした。

優勝　玉井義朗氏（41文）
二位　前田修二氏（34文）
三位　篠原昭三氏（29院修法）

（岡田誠一記）

河内音頭〝関大ゆかた〟

校友総会出演実行委で頒布

今年度の校友総会のアトラクションに柏原、河内長野、富田林、羽曳野、東大阪、藤井寺、松原、八尾の八支部連合で河内音頭を出演することになり「河内音頭出演実行委員会」（委員長、水野八尾支部長）を結成、四月十八日午後六時半から天王寺の〝まつむら〟で校友会本部から徳山総務部長、藤本事務局次長を迎え、十二人が出席して出演の体制を検討した。

なお踊り子用の〝ゆかた（樫本校友会長筆の「関西大学」、校章、創立一〇〇周年のシンボルマーク、関西大学のキャラクター入り、白地に紺色）がつくられることになり、希望者に一着分（反物）四千五百円で実費頒布する。希望者は六月中旬までに校友会事務局に申し込むこと。

◆西宮市役所秀麗会新役員

会長、岸　昭（常勤監査委員）▽代表幹事　河村吉庸（議会事務局長）▽幹事　吉田哲朗（職員研修所長）大菊隆司（総務局参事）大和治丈（広報課長）米田暢爾（職員課長）▽会計　浜本寿治（行政課文書係長）

世話人代表に岸田氏

大阪府下自治体職域懇談会

大阪府下関大自治体職域懇談会の第二十二回世話人会は、四月十七日夕刻、大阪駅前第一ビル「北京」に、大阪府庁をはじめ府下各ブロック世話人十九人が出席して開催された。

今回の世話人会では、本年度総会（第九回）の当番ブロックを南河内地区と決め、準備一切を一任することを申し合わせた。

ついで、昭和五十二年懇談会が結成されて以来、世話人代表として会の発展向上のため尽力した篠原昭三氏（29院修法）が、三月末をもって大阪府を退任したことに伴う退職慰労会を開き、氏の多年に亘るご苦労をねぎらうとともに、後任人事の選任では、大阪府より現秀麗会長岸田勲氏（27学一経　知事室長）を、世話人代表に推挙することに満場一致決めた。なお篠原氏は参与に就任することになった。

100周年に向け基盤確立へ

吹田支部が役員会

母校創立一〇〇周年を来年にひかえ、吹田支部（佐々木砂夫支部長）では、地元支部としてより強力に対応していくため組織基盤の確立をめざし、昨年秋に市内を六地区（婦人部を含め七）にわけ、新しく常任幹事を委嘱していたが、四月十九日午後六時半から、箕面スパーガーデンで、第一回役員会を開催、四十人が出席して支部活動の基本構想などについて話し合った。

まず、佐々木支部長が「五十八年十二月に支部長に選任されたが、任期三年のうちに母校の創立一〇〇周年を迎える。地元支部としてぜひこれを成功させたい。さらに校友会支部の中でももっとも優秀な支部にしていきたいと考えている」とあいさつ。

議事では、福永利一幹事長より、これまでの経過報告のあと、(1)支部活動の基本構想として各地区に十人前後の常任幹事をおく。現在十人に満たないところは担当副支部長が人選して増員する。(2)六十年度支部総会を今夏までに開催する。(3)支部活動を円滑に進めるため、幹事長宅に専用電話を設置し、パート事務員をおく。(4)一〇〇周年募金には吹田支部として一千万円を寄付し、在住校友に呼びかけ、さらに上乗せをはかる、などを決めた。

卒業35年の記念総会

5年ぶり「関大第一新生会」

昭和二十五年、新制学部第一部の卒業生が中心になって組織する「関大第一新生会」の卒業三十五年記念総会が、四月十九日午後六時から天王寺の大阪府中小企業会館（川田実館長＝25経）で盛大に開かれた。

校友会の樫本信雄会長、畑下辰典監事、藤本道人事務局次長、法人の稲野治兵衛副理事長、恩師の広瀬捨三名誉教授、桜田誉法学部教授、高木秀玄経済学部教授の来賓を迎え、五十二人が出席した。

藤井昭三大阪府議会議員（政）の司会で、世話人の宮崎幹大氏（政）があいさつ。樫本校友会長から祝辞、稲野副理事長から母校の現況の話と創立一〇〇周年記念事業募金についての協力依頼があり、広瀬名誉教授の発声で乾杯、懇談に移った。

総会は五年ぶりであり、卒業以来の初参加もあって最初はお互いに名前と顔が一致せず、とまどう風景もみられたが、そこは気心の知れた同期生のなか、たちまち心もとけ合い、恩師を囲んだり、千里山の思い出などに話がはずんだ。

全員が楽しく有意義だった集まりに満足し、これからは毎年、総会を開くことを決定、肩を組んでの逍遥歌で会をしめくくった。

大西学長を特別講師に

雄吼会総会開く

弁論部、雄弁会のOBで組織する雄吼会は、四月二十三日、東区の大阪コクサイホテルで六十年度の総会を開いた。

今年度は、大阪弁護士会副会長に選任された木村吉治（32学1法）、校友会長に七選された樫本信雄（3大法）、同副会長に選ばれた篠原昭三（29院修法）の各会員のお祝いをかねて開催された。

第一部は母校から大西昭男学長を迎え〝明日の大学、明日の日本〟のテーマで講演をきき、日ごろ仕事に追われる会員にとって、学長の講演はしばし学生時代に思いをはせたアカデミックな一刻だった。

第二部はパーティー、各界で活躍する会員同士の情報交換や、交流もさることながら、学生時代の楽しくまた苦しかった地方遊説、千里山外苑での発声練習のことなど思い出話にも花が咲き、雄弁会復活も熱っぽく論議された。

母校一〇〇年に向けての協力を力強く宣言し、五十余人の出席を得て、例年以上の盛会のうちに、逍遥歌で幕を閉じた。

（岡田誠一記）

一八〇人の熱気と連帯

広田ゼミ　15周年記念パーティー

逍遥歌の大合唱につづいて割れるような大拍手の中、広田君美教授の体が教え子たちの熱狂的な胴あげで何度も宙に飛んだ。これは五月三日午後二時より大阪中の島の大阪グランドホテルで開かれた社会学部広田ゼミの十五周年記念パーティーの盛りあがったフィナーレの光景であった。そこには関大一〇〇周年にむけた若き校友のエネルギーの見事な結集があった。

広田ゼミは五年ごとに記念パーティーを開催しているが、今年は十五期生の卒業にあたり、盛大にくり広げられた。広田ゼミの十五年間の卒業生は他大学や他学部からの大学院進学者を含めて総数三百二十三人、当日は百八十人を越すゼミ生が一堂に会した。

遠くは千葉県、茨城県、東京都、四国や長野県などから駆けつけた卒業生の集まる会場で、からっぽの箱の中から、スポットライトをあびて突然、広田教授が現われるというマジック仕立てのオープニングセレモニーから始まった。これはパーティー実行委員の一人が大学の奇術研究部に所属しており、その演出によるものであった。

広田教授は「同心　心を同じうすれば、利きこと金を断つ、同心の言はその香り蘭の如し」という易経の言葉を引用しながら、先輩と後輩間の絆を強め、連帯することの大切なことを訴えた。つづいてゼミの同窓会長、山野晃氏の挨拶と乾杯の音頭でなごやかに宴の幕はきっておとされた。

新しい図書館やゼミの活動がスライドで上映される中に創成期の一期生、神の時代の二期生、…黄金の六期生、暗闇の十期生などとつぎつぎと各期生のユニークな紹介がおこなわれた。その後第一広田ゼミ歌、第二広田ゼミ歌の発表と歌唱指導があり、つづいて豪華な景品のあたるビンゴゲームを楽しみながら学生気分にひたりきったのであった。

「宴は終わってもその思い出はいつまでも続くだろう。皆忘れないようにしてまた二十周年に再会しよう」という広田教授の挨拶でパーティーを終了した。

とっておきの話

塞翁の馬

原級に留めおかれた〝専門部四年生〟の昭和九年春は、ツイてなかった。

恒例の陸上競技部合宿は、奈良・若草山で行われ、大仏殿前の旅館で起居、身体をほぐした。なにしろベルリン・オリンピック（昭和十一年）には、選手六人を送り出した関大陸上競技部のこと、跳躍の大島鎌吉、戸上研之、ヤリ投げの長尾三郎、短距離の谷口睦生ら当代一流の顔ぶれがそろっている。足腰を鍛える駆け足登山で、私はつい張りきりすぎ、下りでころんだ。このケガで二ヵ月も入院、首が回らなくなった。スポーツ選手としてしまらない話ではある。

前年、全日本学生陸上選手権で800㍍と1500㍍の二種目を制し、騎虎の勢いで日本新記録更新を胸中に秘めていただけに、つらかった。病みあがりではも一つ調子が出ず、全日本ランキングは10位に陥落。それでもベルリンを夢みて、800㍍から400㍍へ種目変更、再起を期した。

これが結果的にはウラ目に出て、ベルリン行きの選にもれた。陸連は、次の東京大会（昭十五年）に備えて中距離陣のワクを広げ、マラソンの瀬古利彦を育てた中村清らが出場する。全く不運につきまとわれる感じで、落ちこんだものだ。

が、世の中はおもしろい。中国大陸に戦火が広がり、昭和十四年、私も奈良の連隊で身体検査を受けた。そこでふしぎなめぐりあいをする。

まず、受付で「藤枝じゃないか」と声をかけてくれたのが、大阪市役所水道局で机を並べていた同僚である。ついで、問診にあたった見習医官は、郷里（奈良県磯城郡三宅村）の隣村の知り合い。最後に診察した軍医は、かつての京都大学陸上部員で甲子園南運動場で競いあった仲である。「お前の首は回らんな。体格は非常に良いけど、軍隊の激務には適さん」彼はきびきびと軍隊口調で診断したあと、親しみこめて

「藤枝君、帰りたまえ。こんな戦争はすぐ終わるよ。しばらく陸軍病院に入っといてくれ。その間に兵役免除の手続きをするから。そのかわり来年の東京オリンピックは俺の分も頑張ってくれよ。内地にいれば、応援に行くからな」

陸上にかける軍医殿の情熱がピンピンと伝わってきた。

軍役ご免の「即日帰郷」となり、恥かしながら職場復帰した私は、三度目の正直を信じて練習に励む。その東京オリンピックは幻と消えた。戦後、風の便りに私の原隊となるはずの奈良の部隊は、大陸に出動し大別山の戦で全滅したという。

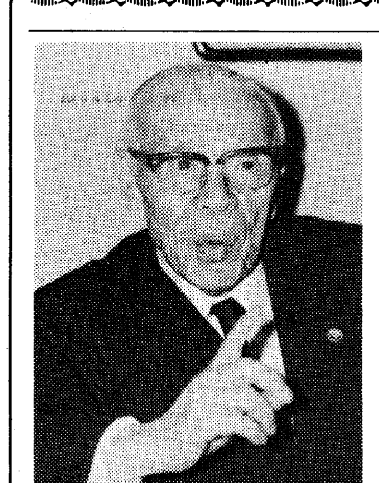
若草山合宿のケガがもとで生命永らえたわけで、つくづく「人間万事塞翁が馬」の故事をかみしめている。

日本陸連副会長　藤枝昭英氏談
（文責・篠原茂一）

お前の首は回らんな。

最後の話となった

押谷さんの〝関大時代〟



〝関大時代〟を語った押谷さん

元衆院議員、弁護士、清交社関大会長の押谷富三氏（大5専法）が四月十五日、肝硬変のため亡くなった。

ことしの新年互礼会（一月十二日）、臨時代議員会後の懇親会（同二十六日）に出席した押谷さんは、最年長OBとして「母校関西大学のために」張りのある声で乾杯の音頭をとられた。その席でお願いし実現したのが大正初期、福島学舎での「わが関大生時代を語る」。インタビューは一月二十九日、大阪市北区天神橋筋一、押谷法律事務所で行われた。七十年も昔の青春回顧は、よどむところがなく三時間半に及んだ。以下は、その要約である。

何でもやってやろう

滋賀県立長浜農学校を卒業、京都法政大学予科（現立命館大学）を経て、大正二年九月、関西大学高等商業科に入学した。

語学がにが手で、商業英語のむずかしさに泣いた。法律科への転科希望が垂水善太郎・総務幹事にかなえられてから勉学にはずみがついた。

二年生（大正三年）のとき、「意見発表の機会をつくろう」と、獅子吼会が生まれ、マネジャーをつとめた。弁論部の前身である。この獅子吼会が中心となって、同年十月に「母校改革運動」が起こった。

改革運動の結果、翌四年から学友会の自治が確立した。主として弁論部活動をするとともに、相撲部マネジャーとして大ナベでおかゆを炊いたり、軟式庭球部でラケットを持ったり、何でもやってやろう精神で学園生活を楽しんだ。

〝一日百歩〟の教え

卒業（大正五年七月）のさい弁論部が中之島、大阪ホテルで開いた謝恩会に岡村司先生（民法）を招いた。その席で聞いたはなむけの言葉が、終生の指針となった。

「諸君は人生という長いマラソンに、いま同時にスタートする。一年たつと隊列がくずれる。五年先になると先頭が見えないくらい離れてしまう。だから他人より〝一日百歩〟前に進むよう心掛けることだ。一年で三万六千五百歩、これが十年続くと、社会的活動の〝みのり〟は大きく違ってくる」

他人より五分間でも余計に本を読む。不断の努力こそ必要という教訓だった。

「華城学舎」の青春

在学中に弁護士試験に合格する秀才は別として、卒業生は上京して受験勉強するのが普通だった。

関大の先輩を頼って、根津（文京区）で下宿、上野の図書館に通い、出入り自由を幸いに日大などで聴講した。生活費を節約するため、同窓五人が戸塚町（新宿区）の大根畑の一軒家を借り、浪華をもじって「華城学舎」の看板をあげた。

同じ目的を持つ仲間の共同生活は活気にあふれ、切磋琢磨によって能率があがった半面、休憩時間のロスも多かった。

こうして受験準備二年、大正七年に華城学舎から合格者第一号（押谷）が出た。引き続いて同級生の宮野広正、石堂官治、古市文太郎、一年後輩の永井恵美太らが宿望を果たした。そこで育んだ友情は、終生続いた。

（年史資料編集室　篠原茂一）

◆大阪府人事　4月1日付

〈課長級〉

◇知事室　総務課参事（財政課主幹）大飯田計五＝40法▽秘書課参事（秘書課長代理）森繁＝38法◇総務部　課税課長（生野府税事務所長）中西康裕＝29経▽課税課検税監（北府税事務所納税課長）角野光男＝32経▽地方課参事（法制文書課長代理）奈良啓一＝39法▽管財課参事（道路課長代理）松井斎＝33法▽天王寺府税事務所長（南河内府税事務所長）西尾勇＝36法▽南府税事務所次長（課税課長代理）岡本弘＝31商▽泉南府税事務所長（西府税事務所次長）井口良一＝27専▽中河内府税事務所長（南府税事務所次長）小倉博道＝30法▽寝屋川自動車税事務所長（西成府税事務所次長）米田昴＝27短商経▽三島府税事務所次長（北河内府税事務所課税課長）原田伊佐夫＝34法◇企画部　企画室参事（財政課参与）杉本進一＝37法▽同和対策室指導課長（同和対策室調整課長）中尾善一＝36法▽同和対策室調整課長（同和対策室調整課参事）梶村兼司＝31法◇生活環境部　消防防災課長（経済振興課参事）南敏夫＝33法◇民生部　社会課参事（福祉課長代理）西田元浄＝38法▽婦人相談所長（貝塚保健所次長）箱柳政一＝27商◇衛生部　管理指導課長（空港対策部企画調整課参事）池中昇三＝37法▽環境衛生課参事（大東保健所次長）上村圭弘＝31法▽府立成人病センター事務局庶務課長（職業対策課参事）邨田幸雄＝34文◇商工部指導課参事（府立中宮病院事務局庶務課長）吉田博＝35法▽工業課参事（地方課参事）片岡健彦＝39法◇農林部　農政課長（教育委員会事務局施設課参事）藤田弘幸＝32法▽農政課参事（地労委審査課長代理）大江正隆＝37法◇労働部　職業対策課参事（府立芦原高等職業訓練校副校長兼庶務課長）安井輝夫＝31法◇土木部　用地室参事（用地室長代理）宮本邦雄＝32法▽同（八尾土木事務所次長）増田隆三＝32法▽土木技術事務所次長兼同総務課長（中部公園事務所長代理兼同管理課長）窪幸郎＝35法▽寝屋川水系改修工営所次長兼同総務課長（下水道課長代理）松貞武＝37法◇企業局　事業管理部企業監理課長（金融課長）高井仁男＝34法▽事業管理部企業監理課参事（企画室主幹）漆原八十一＝39法▽空港対策部計画課参事（労働福祉課長代理）川瀬誠＝40法◇水道部　総務課長（障害更生課長）村上和美＝34法◇教育委員会事務局　施設課参事（施設課長代理）松本義雄＝39法▽社会教育課参事（商工部指導課長代理）森下保＝25専◇監査委員事務局　監査第一課長（水道部会計課長）山本達雄＝29経◇府立看護短期大学事務局庶務課長（府立成人病センター事務局庶務課長）北野美雄＝32法▽富田林高校事務部長（長野北高校事務長）永長昇＝38経

◆大阪市人事　4月1日付

〈局長級〉

経理局次長兼管理部長（公園局管理部長）清水利三＝33法▽公園局理事＝大阪市公園協会出向予定＝（中央図書館長）楓寿穂＝28法

〈部長級〉

民生局総務部長（西成区長）荒木四郎＝27経▽中央卸売市場次長（港湾局管理部庶務課長）中川剛＝36法▽大淀区長（民生局総務部社会課長）荒木久友＝38法▽淀川区長（大阪産業廃棄物処理公社出向）小杉浩＝32院経▽環境事業局副理事＝大阪市霊園サービス公社出向予定＝（環境事業局業務部庶務課長）東田正道＝34法▽都市整備局副理事＝大阪市建築技術協会出向＝（都島区長）吾妻雅＝24高

〈退職〉

経理局長　山田宗雄＝26法

新宴会場オープン
支部総会・記念パーティーに。
千里阪急ホテル
地下鉄千里中央駅前　TEL (06) 872-2211

内外国
特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二五―五九〇五　TSIPOL
ファックス　〇六（五三一）七四三五

＊ウーロン茶の最高級品！　中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減量　やせたい方に
アルカリ飲料　美容健康茶
ウエイトコントロール　味はさわやかマイルド
●ティーバッグ（20袋入）[illegible]円
●ティーバッグ（50袋入）2,000円
●特選お徳用箱（150g入）1,500円
●特選マイルド（300g入）3,000円
中国銘茶　楊貴妃　ヨーキヒ
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求券　K係
大阪市北区芝田2-6-18　商工中金ビル　☎(06)373-2101㈹

片町線放出駅前・3階建新築ビル
テナント募集!!
診療所・店舗・教室に最適！
1F――101.65㎡
保証金　3.3㎡当り　50万
家　賃　3.3㎡当り　8千円
2F・3F――109.75㎡
保証金　3.3㎡当り　30万
家　賃　3.3㎡当り　6千円
共益費　10,000円
60年秋完成予定
（放出駅西へ歩2分　鶴見区放出東3丁目）
国鉄放出駅歩1分
栄町商店街プラザビル1F
空店舗　店80㎡
●保証金…3.3㎡当り　50万
●家　賃…3.3㎡当り　1万
●共益費なし
繁栄を育てる――
プラザ殖産㈱
代表取締役　清水正褧（昭40法卒）
☎967―5586㈹
〒538　大阪市鶴見区放出東3丁目22-8〈プラザビル〉

結婚は素敵な出逢いから……。
いま、カジュアルな〝見合い恋愛〟のスタイルが大きく見直されています。JS結婚情報センターは、手とり足とり（手かせ足かせ？）の結婚サービスでなく、もっと気軽に出逢いのチャンスを求めておられるあなたの新しい結婚データサービス。あなたのデータをもとにコンピュータによる総合的な分析を行い、定期的な情報提供を致します。出逢いのキーステーションとして、ご気軽に、先へ延ばさず、情報を入手してください。
他社のシステム――30万円
お申し込み登録　データ交換　お見合い　恋愛　ご成婚
あなたのPRとしてデータをコンピュータに入力します。
コンピュータが最適の人を選定します。
データの中からご自分で自由に選択出来ます。
楽しいデーティング。
結婚情報を定期的にお届けします。
当社は――3万5千円の登録料だけでご成婚まで
登録料35,000円
登録料は当社のデータサービスのすべてを含む金額です。（成婚時礼金等一切頂きません。）
ブライダル インフォメーション
株式会社ジャパンサービス
取締役 黒津忠夫（39年史学卒）現漕艇部監督
お気軽にお電話下さい
☎06(643)2822
〒542　大阪市南区日本橋2-1-24
●資料請求（無料）はおハガキで
〒542-01　大阪南郵便局区内私書箱61号
㈱ジャパンサービス
JS結婚情報センター

家庭療養ベッド　レンタルサービス
日本全国どこへでも
必要な時に、必要な期間お貸しします。
●レンタル料
月々4,000円より
20,000円まで
詳しい資料は、お電話下さい。
☎(06)854-2251
能川夏代
（42学1新卒、航空部OB）
豊かなくらしに住まいの装飾
株式会社　山城屋家具装飾店
装飾部　豊中市本町1丁目3番2号　TEL (06)854-2251
家具部　豊中市中桜塚2丁目12番9号　TEL (06)841-5700
営業部　豊中市岡上町3丁目11号　TEL (06)841-5796
店舗設計施工部　豊中市岡上町3丁目11号　TEL (06)854-2221

叙勲おめでとうございます

自然哲学者としての友松芳郎先生

社会学部教授　宮下　三郎

友松名誉教授

友松芳郎名誉教授は今年度春の叙勲に際し、勲四等旭日小綬章の栄誉に浴されました。

先生は明治四十五年、大阪東区南久宝寺町に生まれ、甲陽中学、三高理科甲類、大阪大学理学部化学科を卒業。一時、東芝の西堀（栄三郎）研究室に所属し、真空管材料の研究で業績を挙げられましたが、阪大の仁田研究室に復帰、戦中戦後のむずかしい時代に、専任講師としてX線廻析の研究と指導に当たられました。

念願とされたプロの科学史家として出発されたのは昭和三十一年で、神戸山手女子短大から、三十三年に関西大学文学部に助教授として着任、本学の一般教育課程に自然科学史を創設担当。三十八年教授となり、科学概論の講義をはじめられ、四十二年には新設の社会学部に移り産業技術論を開講されました。五十七年に停年退職、引き続き本学名誉教授として科学技術史教育に尽力されています。

先生は日本の科学技術史教育の開拓者の一人であります。草創時代の科学史家であり、人間の生きかたとしての科学史を説かれ、大学教育にそれを根づかせた功績はまことに大きいと存じます。それ故に先生の編纂された『自然科学史』（創元社、昭和三十八年初版）は今も版を重ね、世評が高いのであります。また昭和五十七年には一般教育学会を本学で開催、大会実行委員長として、それを主宰し成功を収められたのであります。

女性科学者問題や産業技術政策につきましても深く研究され、とくに後者については、いよいよ総括の仕事にはいられたように仄聞しております。

青年時代の結核との闘病も、先生の学問形成にとって重要な一面であったと思います。ピンポン球充填及び摘出のための肋骨切除など、たび重なる大手術をのり超えられたのみならず、その間にむしろ学問への思索を深められたのは驚異です。先生の科学史が専門をこえて人生論にまで高まったのも、病気との共存と無関係ではないという気がいたします。

先輩、後輩のお陰

元検察審査会事務局長

長谷川秀雄氏

「長い間のつとめで先輩、後輩のご協力をいただいた。小さいときから一生懸命、自分なりに仕事をしてきた。しかし軍隊に入って結核にかかり、その後は長い間、欠勤したりで十分に働けなかったことを恥じ入っています。まじめにやってきたが、内心じくじたるものがあります。それでも勲章をいただき功績が認められたことはほんとにうれしい。まったく、みなさんのおかげでいただいた」と〝叙勲の喜び〟を語っている。

大阪控訴院の事務官から大阪高裁、和歌山地裁刑事首席書記官などを歴任、大阪第一検察審査会事務局に移った。

戦中戦後の労働行政

元和歌山労働基準局長

児玉市太郎氏

学校を卒業して大阪府の警察官に。警部補のころ労働問題が取り上げられるようになり、労働担当へ。戦後労働省ができて、同省へ移った。本省の基準局給与課課長補佐から三十二年、鳥取労働基準局長、三十六年、和歌山の同局長。

「戦中の統制時代の労働問題。戦後は労働者の生活を高めるための最低賃金制度、私は労働行政一本でやってきました」。その後も大阪労災病院事務局長、㈶労働福祉共済会、㈱互助センター非常勤顧問と労働者につながる仕事一途に生きてきた。

「長い間、公務員をやってきたのでご苦労さまということでしょう」と語った。

消防一筋の人生

元大阪市消防正監

森本　守夫氏

大阪府の消防士をつとめながら専門部2部に通った「よくやれたものです。若かったからでしょう」。

十四年に応召で軍隊へ。十五年に帰ってきてまた学校へ。

此花消防署長、東消防署長などをつとめた。消防署長は日曜も祭日も夜も昼もない。どこにいても火災現場に五分以内でかけつける義務がある。そのような生活を二十年間続けてきた。

「自分としては当たり前のことを当たり前にやってきただけです。叙勲はみなさんのおかげ、ただ感謝の心あるだけです」と話していた。

レジオン・ドヌール勲章も

日本ビクター㈱会長

松野　幸吉氏

松野幸吉氏

「ただ、もう、みなさんのおかげです。みなさんのお力添えがあって、いただくことができました」

五月九日の日本ビクター株式会社の株主総会を前に、多忙の松野氏は謙虚にこう語った。

松下電器産業株式会社常務取締役を経て、日本ビクターに移った同氏は、ビデオのVHS方式の開発など、業績を向上させ、また日本経営者団体連盟常任理事、経済団体連合会監事として産業界に尽した功績は大きい。五十一年には勲三等旭日中綬章を受章、去る四月十六日には、フランス政府から産業文化両面で日仏協力と友好に貢献したとして、レジオン・ドヌール勲章オフィシエを贈られ、東京麻布の仏大使館で授与式が行われたばかり。重ね重ねのおめでたであった。

同氏は昨年八月から法人の評議員でもある。

関西大学を彩る人々

＜5＞

年史資料編集室　篠原茂一

矢野兼三　（中）

スマトラで天国と地獄　戦犯法廷の不条理を暴く

スマトラ西海岸州司政長官時代の矢野（中央）

富山県知事の座をおりた矢野兼三は、浪人暮らし一年半ののち昭和十七年七月にスマトラ西海岸州長官に返り咲く。

太平洋戦争の開戦と同時に日本軍は電撃的な南方進出を果たした。石油資源の確保が最大の目的だった。蘭印と呼ばれていたインドネシアのオランダ軍は、さしたる抵抗もせず降伏した。マレーシア、蘭印に軍政がしかれ、矢野の陸軍司政長官起用となった。

＝＝陣中、詩歌に興じる

「南洋統治」という任務に、彼はいささか気負って出立したが、西海岸州都のパダンは「悲壮な決心のやり場に困る」ほど、静かな街だった。旅程三千㌔の管内視察では、トラ退治あり、ワニ狩りありで、その肉を賞味したりした。

矢野は筆まめに「関西大学学報お送り下され、遥々赤道直下の当地に着き申し候」、「この地にも二、三の同窓きたり候。いつの日か、ここにも（校友会）支部開設の事となるべきかと期し居候」と、母校に近況報告している。

好きな俳句の道もおこたらず、「南方俳句を日本の夏の季題にいれると混乱する」と〝熱帯季独立論〟を展開、新聞や俳誌に発表するなど、「陣中、詩歌に興ずる境涯」だった。一年九ヵ月の任期中に作った六百句は、句集「赤道標」にまとめられた。二十年夏、用紙事情が極度に悪いときの出版で、矢野が知事時代の旧知が相寄って実現したという。

＝＝報復で貫ぬかれた裁判

このように順風満帆に見えたスマトラ生活が、戦後急転して〝戦犯の嵐〟にまきこまれてしまう。国家の浮沈が、有無をいわさず矢野の人生にかぶさった。

明日あたり花さくらむを
いでたちぬ　　蓬矢

二十三年四月五日、庭のこぶしが咲きかけた朝、彼は巣鴨プリズンに入った。B級戦犯。パダン市民抑留所で病死者が出たときの管理責任を問う、というのが訴追理由だった。

巣鴨生活百日、かっての任地スマトラに押送され、メダンのオランダ軍事法廷に立ち、八年の宣告を受ける。

ひどい裁判だった。それは「正義と人道」に名を借りた報復以外の何ものでもなかった。三年半、〝熱帯煉獄〟でなめた辛酸を記録した矢野の「スマトラ獄中記」（国書刊行会）によって、その実態をさぐろう。

まず、スマトラ十州の司政長官のうち六人までが獄につながれた。オランダ軍が降伏するに先立ちつくった残置諜者網を、第二十五軍（山下奉文軍司令官）参謀部が摘発。台湾の捕虜収容所にいた最高司令官（少将）を連れ戻し、軍法会議にかけて処刑してしまった。世にスマトラ事件といわれる。その復しゅうとして、文官までも戦犯に仕立てあげたのだ。

「獄中一片の紙片を持つことを許さず、一人の証人はもとより、証言を徴するさえ認めず、弁護士といえば資格もない、敵国に忠誠の宣誓をさえさせられたという戦犯容疑者の一人が形式的に立つだけである」

オランダ語通訳はホテルの元ボーイ長。会話はできても法廷問答は完全には通訳できない。しかも、審理は一人、一日ただ一回という簡略さで、直ちに判決。それも求刑五年に対して死刑をいい渡した例もあり、控訴も上告もできない。

＝＝獄窓で死をみつめる

メダンの獄では、同胞戦犯二十三人が銃口の前に立ち、ある者は壮烈に、ある人は従容と死につく。教誨師もおらず、虜囚仲間が刑の執行に立ち会い、遺言を聞き、辞世を託される。

獄中でも、エンピツのシンをコンクリート床の割れ目にかくして作句を続けた蓬矢は、乞われるままに選者として指導にあたった。

そして、彼ら戦犯たちが死に直面して詠んだ遺句を書きとめて持ち帰り、「赤道下戦犯死刑囚の俳句」として、俳誌「ホトトギス」に発表した。

審く人審かるる人年の暮　　杏翁

獄窓に減刑の噂春の風　　庄司晃

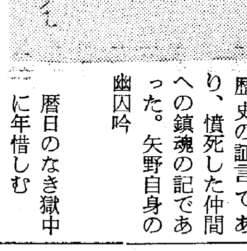
明日共に散る友の寝息や
春の雨　　茂一郎

如来地へ驀進行や春の朝
　　奇世法

メダンからパダビヤを経てオンドロス島へ移動するさいは、鉄鎖につながれる屈辱にあえいだ。人間としての極限におかれながら、わが身わが心を観照して耐えた。二十六年十一月に釈放された矢野は、獄中記を書いた。戦犯裁判に対する歴史の証言であり、憤死した仲間への鎮魂の記であった。矢野自身の幽囚吟

暦日のなき獄中
に年惜しむ　　蓬矢

（敬称略）


矢野の幽囚吟―ホトトギス同人、森白象氏（高野山管長）蔵

ナナメの70年

―3―

第三学舎、笑顔の誕生

学生新聞　松永文相と記者会見

衣笠　周司（34学1法・毎日新聞編集局）

関大を訪れた松永東文相（中央・マイクの前）の記者会見＝後列左端に岩崎学長・右端に白川理事長が見える（肩書きは1957年10月17日撮影当時）

七十年式典が第一学舎の講堂で行われたとき、講堂の落書きが大学生のものとしては、あまりにも知性に乏しすぎる――と、当時のお金で二十万円をかけて消したという。

まだコンクリートのにおうような完成間もない第一学舎教室で講義を受けた思い出のころだった。

講師がすし詰め教室でしゃべるのに、マイクの使い方が悪いものだから後の席では聞こえない。「先生、聞こえません」。ハジをしのんで大声をあげれば、その講師、声の方をハッタとにらみつけて「今年の学生はなかなか減りませんなあ。例年だと、次々サボる学生が出て半数くらいになっているんですがね。そうすると、このくらいの声で皆に聞こえるんですがねえ」。これは日本史の先生だった。

英会話のイ・ストライクという講師は、授業半ばになると必ず、キリストの宣教の話を始め出す。この時もハジをしのんで「先生、私は英会話を習いに来ておるのであって、キリスト教についての話は授業を終わってからにすべきでありますす」と直訳ふうの、つたないニホン語で会話をこころみた。

先生は「私は宣教師であります。授業を引きうける条件の一つにキリスト教の話をするとの了解をもらっています。今後、キリストの話は、授業の後半に入ってからすることにします。あなたは、それが始まったら、教室から出て行ってもかまいません」とリュウチョウな日本語で答えられた。その通りにしたら成績表に「優」がついていた。

一九五七年になって、新しく第三学舎（現在の経商学舎）が完成した。このときは、落書きの書かれないうちに、と十月十七日、当時の松永東文部大臣を招いて完成式が行われた。

式典のあと、松永文相は関大構内で新聞記者会見をした。学生新聞記者としても、目の前に文部大臣がいるのに黙って見送るテはない。岩崎学長らにも〝工作〟して片岡博己編集局長（当時経二）と私と学友会の山本健一委員長（同法四）籔中健次副委員長（同）津田孝次総務部長（同経四）らと一緒に文相会見の場を設定してもらい道徳教育や学生運動について論じた。

ところが、その内容を報道した「関西大学新聞」一三五号について全日本学生新聞連盟校の一部から「関大新聞は、文相を学内でとらえながら糾弾することもなしに解放した」と的違いで最大級の非難をあびせられたことがあった。

第三学舎を見るたびに、ヤギひげの松永文相と、いわれなき非難を思い出す。

そして、その時の関大新聞の見出しも忘れられない。「第三学舎、笑顔の誕生」――いま「よみうりテレビ」で活躍中の藤沢国彦記者（当時経三）のつけた名見出しだった。（つづく）

大島先生を偲ぶ会

陸友会員70人が追憶を語る

「大島先生、安らかに眠って下さい」――関西大学陸友会（関大陸上競技部OB会）では、三月三十日食道がんのため七十六歳で永眠した陸友会名誉会長・故大島鎌吉氏（9大法）を悼み「故大島鎌吉先生を偲（しの）ぶ会」を五月九日夜、大阪ターミナルホテルで行った。

会場正面に大きな遺影が置かれ、その右側にはお孫さんと楽しそうに語り合う、いかにも好好爺（や）の、ありし日の大島氏をしのばせるカラー写真が掲げられた。門田逸郎陸友会会長（臨16年）があいさつ、そのあと黙とうを捧（ささ）げた。この日は長男章和（あきかず）氏も東京から出席、前陸上競技部顧問の壺井義正名誉教授、現同部顧問の平原豊弘文学部教授、遠隔地の出席者を含め、約七十人が集まり、故人の追憶を語り合った。

五十七年に日本人初の「オリンピック平和賞」を受賞したほど偉大な業績を残した大島氏は、三段跳びで15㍍82（昭和9年、当時世界記録）の最高記録を持つほか、オリンピック・メダリストとして知られていたが、二度目の五輪出場となったベルリン大会（同11年）には、関大から大島氏を含め六人もが代表となった。その中の一人で同じ三段跳びの戸上研之氏（14年卒）は、学生時代の思い出をこう語っている。「東京で対法大定期戦があった時、私が宿を出る時にスパイクを忘れ、ハナ歌を歌いながら取りに戻り、バスに乗ろうとしたとたん〝はよせんか〟と大島先輩が雷のような大声を出した。私はとっさに、口答えするようなことを言ってしまった。その時、大島さんは〝礼儀作法がわからんヤツは大阪に帰れ〟と一喝（かつ）されたが、要は相手を待たすことは礼に失する。強い選手になればなるほど、礼節は守らなあかん、と教えられた」――。

大島氏が会長をしていた関西学生陸上競技連盟主催の関西インカレ（五月十一、十二日の神戸）で現役が二部から一部昇格を果たしたが、生きていらっしゃったら、さぞ喜ばれただろう。

なお同氏の大体大の学園大学葬は五月九日、吹田市・千里会館で盛大に行われた。

（力武敏昌記）

第8回総合関関戦

6月20日から22日　関学キャンパスで

第八回総合関関戦は六月二十、二十一、二十二日の三日間、関西学院大学キャンパスで開催される。

昨年は関大が18勝16敗3引き分けで勝ち、通算成績は関大の5勝2敗、3連勝となった。ことしも三十七種目ぐらいの対抗戦が行われる予定で、関大は〝常勝〟をねらうが、迎える関学は〝ことしこそ〟と張り切っている。

健康マラソン大会

申し込み受付中

〝健康マラソン大会〟は総合関関戦の最終日、六月二十二日(土)の午後に行われる予定。

《大会要項》

◇とき　六月二十二日(土)関西学院大学で正午から午後一時半まで受付。午後二時スタート。雨天決行。

◇参加資格　両大学関係者、校友、その他。健康診断で異常を認めず、走ることに自信のある人。参加無料。

◇コース　関西学院大学周辺約六㌔。起伏がある。

◇定員一千人　申し込み先着順。

◇申し込み　申込書に必要事項を記入、〒564吹田市山手町三の三の三五、関西大学体育課内「総合関関戦・健康マラソン大会実行委員会」まで郵送で。申込書は同実行委員会へ請求を。

◇参加者の義務　申込書に書かれている大会規定を順守すること。

新入生の入部歓迎デモ

四月のキャンパスは、研究会、同好会、応援団、体育会など各サークルの〝新入生入部歓迎〟の行事がにぎやかに行われた。ことしは総合図書館をはさんで、法文と経商、工板の学舎へ行く道路に、立看板が整然とならべられた。

整備された第一グラウンドでは体育会各部の公開練習が披露され、十八日の昼休みには応援団リーダー部、吹奏楽部、バトントワーリング部によるパレード、演武などが行われ、階段につめかけた学生の大きな拍手を受けた。

第一グラウンドで行われた吹奏楽部のドリル

上田知事らを招き総会

奈良市役所芦ノ葉会

奈良市役所芦ノ葉会（会員八十人）の昭和六十年度総会は、五月七日新緑の奈良公園ほとりのホテル飛鳥荘で、上田繁潔奈良県知事（21大経）らを来賓に招き、約六十人が出席して開かれた。

総会では、昭和五十九年度事業・会計報告のあと、役員の改選が行なわれ、会長に山本亀治市民部長を、その他役員を選出して総会は終了した。そのあと、懇親会に入り、終始なごやかなふんいきの中で友情をあたためあった。

宴も終りに近づいた頃、スクラム組んでの学歌の斉唱は、古都の夜空にこだました。

この日、選出された正副会長は、次の通り。

▽会長＝山本亀治市民部長（30学1法）▽副会長＝広瀬昭水道局業務部長（30学2経）岡埜和弘婦人青少年課長（30学2経）能木五郎中央公民館長（31学2経）

超高周波研が同窓会

工学部電子工学科超高周波工学研究室の第六回同窓会が四月六日午後五時から南区の湖月で開催され、森田正信教授を囲んで母校の近況に耳を傾け、旧交を温めた。出席者は開催時期の関係で少なく二十三人であったが、研究室の紅一点が出席し、和やかに進められた。

会の組織をととのえるために、今回初めて会長、副会長の選出を行い、会長に石川正臣氏（43院修電、松貿機器㈱）、副会長に津田達哉氏（46院修電、シャープ㈱）が選出され、三人の相談役が決められた。また、案内状送付の際に母校創立一〇〇周年事業募金を呼びかけたが、会の席上で幹事に委託する者も出た。最後に逍遥歌、三本じめと共に散会した。

人の動き

校友会副会長、篠原昭三氏（29院修法）は三月三十一日付で大阪府庁を退職したが、四月二十六日、大阪府都市開発株式会社監査役に就任した。

ご案内

八尾支部でハイキング

八尾支部主催、高安山と信貴山ハイキング（徒歩約五㌔）▽五月二十六日(日)（雨天の場合は六月二日(日)）▽午前九時半、近鉄山本駅改札口前集合▽午後三時ごろ解散▽ケーブル代、バス代等往復約千五百円▽弁当、水筒、雨具持参。▽希望者は清水八尾支部長宅へ。電話〇七二九―二二―〇八六四。

◆枚方市人事　1月16日付

△部長級▽企画部長（企画部参事兼調査参事）中島昭＝33法▽総務部長（市長公室長）小椋久佳＝34法▽都市整備部長（教育委員会・管理部長）中野嘉明＝34法

4月1日付

市議会事務局長兼庶務課長（市議会事務局長兼議事課長）為川勝＝34法▽参事（部長待遇）兼次長（次長兼清掃第一事業所長）永田滋＝34法

△次長級▽清掃第一事業所長（都市再開発課長）永田勝＝38法

◆守口人事　4月30日付

理事兼市民部長（理事兼総務部長）中西修三＝32経▽市民部次長兼国民年金課長（総務部次長）阪本進＝31商▽生活環境部次長兼清掃総務課長（同部次長兼清掃業務課長）久保勉＝31法▽教委指導部次長＝守口市スポーツ振興事業団担当（同委、同部付参事＝同担当）平山博司＝30法▽生活環境部次長兼衛生課長（同部同課長）橋本正一＝33経▽総務部次長兼法規文書課長（生活環境部交通防災課長）宮本忠夫＝34経▽総務部次長（同部人事課長）近藤孝▽教委指導部南部公民館長（生活環境部清掃総務課長）上中賢三＝30商

連絡カード

新校友から

校友会事務局では、今春卒業者の単冊名簿（予約定価〒とも二千円。七月中旬発行、B5判・約一一〇㌻）の作成をすすめており、新校友に〝校友基本カード〟の提出をお願いした。

カードには「近況ひとこと」欄があり、学生生活を懐しむ声、新しい職業に対する期待と不安、仕事に取組む決意などが書かれている。〝新校友のひとこと〟を集めてみた。（カッコ内は学部とゼミ）

▼これからは社会の一員としてがんばりたいと思います。㈱インテック、**田中克人**（法・藤田）〒153東京都目黒区大橋二―二〇―一五、インテック駒場寮420

▼今は仕事を覚えるのに必死です。早く仕事を自分でできるようになりたいです。池田銀行、**部谷昭治**（法）〒564吹田市吹東町一三―一一。

▼企業社会の中に足をふみ入れたばかりであるが、その厳しさと学生時代との大きな違いを感じる今日、この頃です。竹中工務店、**山本茂**（法・沢井）〒658神戸市東灘区深江北町二丁目一〇―一二、㈱竹中工務店深江竹友寮。

▼社会人となり、新しい生活にまだ慣れませんが、活気ある職場で頑張っております。㈱トーメン建材リース販売、**畤地純代**（英・多田）〒662西宮市上ヶ原六番地―二―三九。

▼関西大学の名を恥ずかしめぬよう、頑張っております。㈱教文出版、**藤田謙治**（中）〒591堺市北条町一―四四―八。

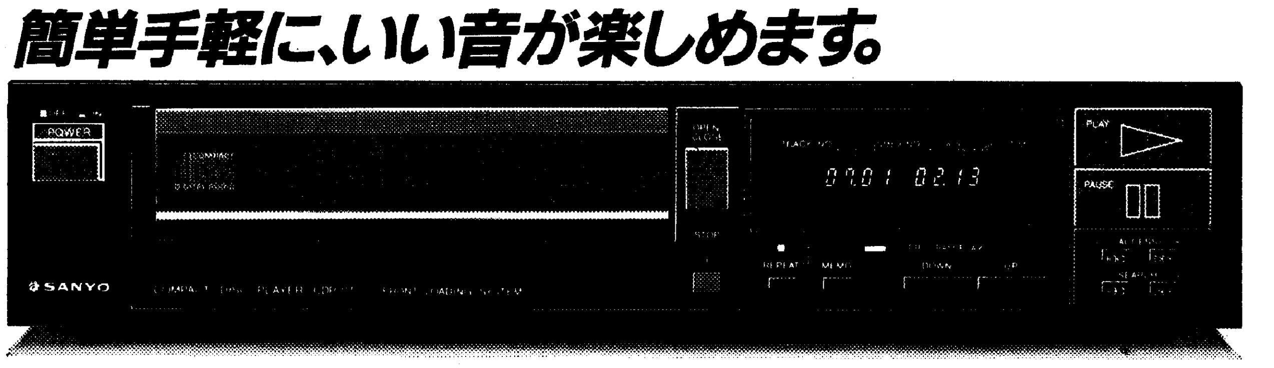
▼最後の学生生活を関大で過ごせ、大変うれしく思います。社会に出ても関大出身を誇りたい。大阪府立春日丘高校定時制、**藤岡悟**（教・野村）吹田市山田西二―八A五―三〇四。

素朴な海辺の旅情――
丹後 久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
―推選　法学部教授、拳法部顧問　堀　堅士先生―
生うに料理（11月下旬〜9月下旬）
舟盛料理（1年中）
漁火焼（1年中）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
山陰海岸国立公園　旅館 小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎(07728)3-0371(代)
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

洗練された味と気軽な雰囲気
仏蘭西割烹
Amitié
アミチェ 心斎橋店
本格フランス料理を楽しくくつろぎながら味わっていただけます。校友の皆様には特別割引でご奉仕。お気軽にご利用下さい。
下村八郎（39・文卒業）
＊ランチタイム　AM11：00〜PM3：00
ランチメニュー　¥1,000〜¥1,500
昼のご会食は¥2,500から承ります
＊ディナータイム　PM5：00〜PM10：00
好評な季節の味覚
シェフお推めコース　¥5,000
シェフおまかせコース　¥6,000から
大阪市南区東清水町53番・リッツビル2F
｛心斎橋・大丸南の通りを東へ2筋目角、フランス国旗が目に入る白いビルの2階です。｝
☎06(251)3076　第1・第3水曜定休

イメージ一新
開かれた新しいサービスのために
図書館家具　ビブリオ シリーズ
日本ファイリング
大阪支店 ●〒542 大阪市南区南船場4-1-9(南船場第1東洋ビル) ☎06(271)3091
本社 ●〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6(主婦の友ビル) ☎03(294)1751

SANYO
ミニコンサイズのCDプレーヤー。
簡単手軽に、いい音が楽しめます。



ディスクを入れて、ボタンを押す。すると突然、素晴しい音。CDP-07は、横幅33.5㎝、高さ僅か7.7㎝のコンパクトなボディでも、スピーディーで正確な曲の頭出し、好きな曲だけを好きな順番で再生できる16曲ランダムプログラム機能、繰り返し再生が楽しめる2モードリピート(全曲/プログラム曲)など、多彩な機能を搭載。ボタン操作のイージーオペレーションで、CDサウンドが手軽に楽しめます。
コンパクトディスクプレーヤー
CDP-07(K)・(R)
標準価格 64,800円
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
●CDP-07(K)・(R)には保証書が付いています。ご購入の際、ご購入年月日、販売店名などの記載事項をご確認のうえ、お受け取りになり大切に保管してください。
●詳しい資料のご請求は、〒570 大阪府守口市大日東町100番地 三洋電機株式会社 音響企画部「関西大学新聞」係までどうぞ。
上手に使って上手に節電　三洋電機株式会社

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660 尼崎市杭瀬北町1丁目3番地　電話大阪(481)8807〜0番(代表)・(489)3041番
東京営業所及工場　〒177 東京都練馬区高野台2丁目6番16号　電話東京(904)1521番

テクノロジーの散歩道 〈27〉

人工知能

工学部教授 田中輝夫

制御工学研究者の夢

第五世代コンピュータ

人間はいままで、いろいろな機械を開発、改良してきた。この発明、改良の原動力は一体なんであったのか。一言で言えば、それは人間の〝夢〟だったのではなかろうか。人間が自己の体の機能を増大することによって、生活環境を改善しようとする〝夢〟であると言えそうである。しかし、機械の開発のため、人間はこれまで、自分の体の機能を研究する必要はほとんどなかったのである。優れた自動車や航空機を作るために、人間の足を研究してみても始まらないのである。ところが、機械の歴史上はじめて登場した汎用マシンであるコンピュータは、人間の〝夢〟を一層ふくらませてくれた。

計算ができるものなら、もっと他の、知的機能の拡充にも役立てられないものだろうか、と考えた。ところが、たとえば「音声識別」のように、一見簡単にできそうなことでさえ、今までの工学の常識だけではほとんどお手上げである。しかるに、驚くべきことに人間は、そうした極度に困難に見える作業を、何の苦もなくやってのけている。一体、人間にはどうしてそういうことができるのであろうか。もう一つの事例を考えてみよう。ここに一つの文章がある。

「A氏は、B氏を会社へ訪問しようと考えた。そのためB氏の秘書に電話しようと思い、財布を調べた。一万円札しかなかったのでタバコを買った」これを読んで、何故、A氏が電話をしようとしたのか、何故、財布を調べたのか、タバコを買ったのか、われわれは、その理由をすぐ推測することができる。しかし、従来のコンピュータは、そのことを推測（推論）することはできない。その原因は、コンピュータが「知識」を持ち合わせていないからである。四則演算を高速に処理することができるという「高速電子ソロバン」にすぎないコンピュータにとっては、推論することとは所詮、無理な話なのである。

人間は、永年の学習や経験によって学んだ「知識」を基礎にして、その人が持っている研ぎすまされた「推論機能」を働かせて、推測するのである。そこで、人間の知的活動に少しでも近い能力を持ったコンピュータを持ちたい、という願望が原動力となって登場してきたのが「推論できるコンピュータ」である。

推論型コンピュータは、図に示すように、「知識ベース」と通常「推論エンジン」と呼ばれる「推論機構」とからなっている。「知識ベース」の中には、自然や社会の原理、現象の知識、人間が経験的にたくわえた知識など、問題解決に必要な知識が内蔵されている。その内蔵形式は「何々である」という形と、「何々ならば何々である」つまり「IF…THEN…」という形の2種類である。

この働きは、一種の知能を持つことであるから、この分野を「人工知能」と呼ぶのである。

「人工知能」つまり、知識と、それに基づく推論機能を備えたコンピュータシステムは、最初医学の分野で開発され始めた。感染症診断と投薬指示システム。腎疾患の診断システム。肺疾患の診断システム等である。また工学分野では、地下資源探査、未知物資の化学構造式推定、航空機の離着陸管制等のシステムである。「知識ベース」の中にいろいろな領域の専門家の知識を内蔵しておいて、それを基にして推論し、問題を解決しようとするもので、実用可能な、優秀なシステムが開発されてきている。

これらは「エキスパートシステム」と呼ばれている。今後は、自動翻訳システム、話し言葉を完全に理解するシステム、二次元画像から三次元の世界を想像するシステム等の分野が注目されてくるのであろう。つまり、「認識」だけしかできなかったものが「理解」可能なコンピュータへと進化しはじめたのである。

そこで、今後新しくクローズアップされるであろう分野を展望してみよう。

昭和五十九年五月、我が国ではじめての、小型計算機利用「和英自動翻訳システム」が完成した。このシステムは、一時間に三千語の日本語を英語に翻訳でき、新聞一ページ分なら二時間あまりで自動的に英訳文を作り上げる。ここで、翻訳は単に、日本語を英単語に直せばよいというものではない。構文を解析し、品詞を決定し、前後の関係から内容を読みとって訳出しなければならない。この部分を担当するのが「人工知能」であって、その中の「知識ベース」の善しあしが翻訳の質を決定するのである。そこで、この新しく開発された翻訳機は、「知識ベース」の完成のために、数年の年月と、膨大なマンパワーが投入されたとのことである。

つぎに、文章を書くということは、非常に面倒なことである。もし、機械に向かって話しかけた言葉が、そのまま印刷されてプリンタから打ち出されてくれば、どれだけ楽しいことであろう。ところが、話された言葉の単語の「音声認識」はある程度可能になっても、その構文、意味などを理解し、話される内容を的確に把握するという「音声理解」となると、人工知能がその知識をフルに活躍しなくてはならない。そして、将来「音声理解」「自動翻訳」「音声合成」の各システムが一緒になるときがくるであろう。そのときには、日本語で話された言葉が、英語、ドイツ語、中国語に訳され、音声で出力される「自動翻訳機」が出現するであろう。これも楽しい夢である。

つぎに、従来のコンピュータによる画像処理は、二次元画像から線の検出、明るさの一様な部分の検出等によって平面内の「特徴抽出」を行うのが精一杯である。しかし将来は、二次元画像から三次元物体を推測したり、飛んでいる物体を「認識」して、それが鳥であるか、旅客機であるかを区別しなければならない。そのためには形のみでなく、その物体の機能、概念等も「知識ベース」にたくわえておかなければならない。つまり「画像理解」をコンピュータに行わせなければならないのである。

「人工知能」は、現在ではまだまだ若い学問分野である。しかし、これが成長し、「第五世代コンピュータ」と呼ばれる機械が完成したときには、我われの生活は、どのように変化しているであろうか。二十一世紀のビジネスマンの生活によってこれを想像してみよう。彼が車で外出する際は、「人工知能内蔵車」に向かって、「現在地と目標地」を話しかける。すると、目的地に最短時間で到達できる最適ルートを音声で答えてくれる。また運転は、人工の眼でとらえた情報と、蓄積された三次元画像データとを照合しながら、完全な自動運転である。会社へ出ると、海外から山のような情報資料が届いている。英語、スペイン語、ドイツ語である。これを人工知能をもつ光学文字読取機が日本語に翻訳し、その抄録をプリントアウトする。時間がないときは、機械に話しかければ、さわやかな女性の声で内容を読み上げてくれる。家庭に帰って、体の変調をうったえれば、家庭健康診断システムが常備薬の服用指示から、最適な医師への通報、ベッドの手配までやってくれる。ということになる。

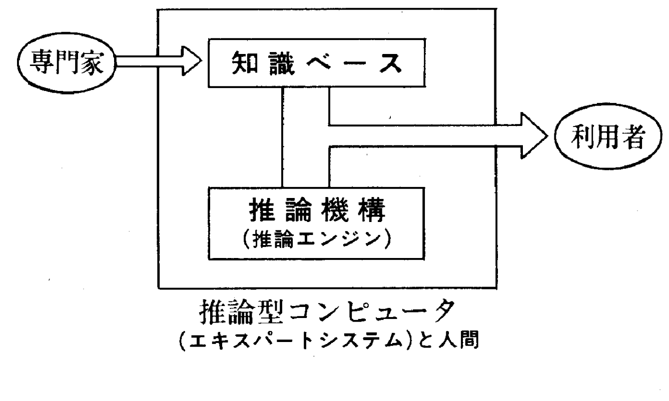
それでは、将来、「第五世代コンピュータ」が活躍する時代になったとき、人間は一体どのような知的活動に生甲斐を感じているであろうか。

従来の知的活動、すなわち、人間が百万年の進化の過程において得た知識や経験法則を活用して問題を解明するという知的活動は、すべて「人工知能」に一任してしまっているであろう。

そして、「人工知能」がどうしても真似のできない、創造的知能活動や芸術的創作活動に従事しているであろう。そのときもなお、人間は、生活環境を一層改善しようとする〝夢〟を追うことに、生甲斐を感じているのではなかろうか。

田中輝夫教授のプロフィル

昭和二十六年、京都大学工学部応用物理学科卒業。研究生として自動制御を研究後、明石高専助教授を経て、四十一年関西大学助教授、四十六年教授、制御工学と応用数学を担当。工博。専門は計算機を用いた最適制御系の設計、ランダム信号を用いた制御システムの性能推定であるが、最近は計算機応用画像処理、三次元物体の計測にも研究分野を向けている。趣味は音楽、別居中の息子夫婦、娘夫婦を呼びよせて家庭音楽会を催して聞き役に徹するのを楽しみとする。近頃は、カラオケにもその守備範囲を拡げたよし。



推論型コンピュータ
（エキスパートシステム）と人間

パリの墓地

文学部助教授 鷲田清一

市街から3番のメトロに乗って終着駅近く、パリの東の町外れといった所に、ペール・ラシェーズ墓地がある。パリ・コミューンの戦士たちが葬られていることで有名だが、モンパルナスとならんで古今の芸術家の墓も多い。ショパン、フォーレ、モジリアーニ、オスカー・ワイルド、アポリネール……時代も国籍もちがう芸術家たちが、ときには隣りあって、地下に眠る。油ののりきった生涯の一時期ないしは大半を、口舌爽やかなパリ市民にまじって暮らした彼らのことだから、ひょっとして、地下で新たに契りを結び、夜毎ひとの寝静まった頃起きだして、たがいにかまびすしく自己主張をぶつけあっているかもしれない。

そんな空想を楽しみながら半日ばかりぶらついてみた。裕福であったらしい市民の墓には、電話ボックスくらいの小さなチャペルが玄関よろしく立っている。なかを覗けば、枯葉を敷きつめた床にビールの空き缶がころがり、ポルノ雑誌の切れはしが散らばっていた。なるほど、これはいい宿だ。

後日、たまたまタクシーで横を通りかかったとき、ためしに運転手にきいてみた。

「ここはひとが寝泊りしているようだけど、どんなひと？」

「ここはねえ、ムッスュー、パリでいちばん幸福なひとが住んでいるんですよ」。

村上教授に本多記念賞

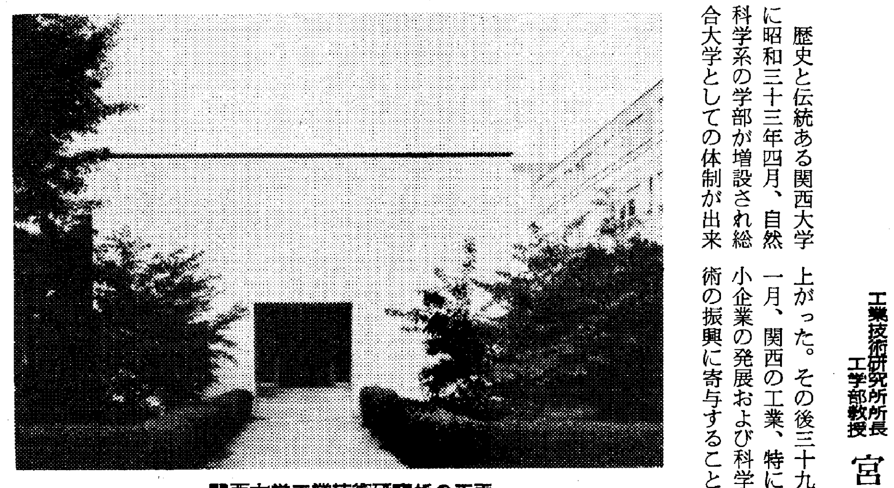
村上陽太郎教授

関西大学工学部 村上陽太郎教授は「非鉄金属材料の金属組織学的研究」により、五月二十日、財団法人本多記念会から第二十六回本多記念賞を受賞することになった。

本多記念賞は東北大学金属材料研究所ならびに日本金属学会を創立した本多光太郎氏の偉業を記念するため理工学、とくに金属に関する科学・技術の進展に卓抜な貢献をした人に金メダルと副賞が贈られる。昭和三十四年に第一回の授賞が行われた。村上教授は昭和28年・京都大学教授、56年4月・京都大学名誉教授、同・関西大学教授。工学博士。

関西大学工業技術研究所

工業技術研究所所長 工学部教授 宮谷義六



関西大学工業技術研究所の正面

宮谷所長

歴史と伝統ある関西大学に昭和三十三年四月、自然科学系の学部が増設され総合大学としての体制が出来上がった。その後三十九年一月、関西の工業、特に中小企業の発展および科学技術の振興に寄与することを目標として、関西大学の附置研究機関として「工業技術研究所」（以後研究所という）が設置され現在に至っている。近く本学創立一〇〇周年を迎えるに当たり、校友諸氏に工業技術研究所の設立の経緯と輝かしい足跡を紹介するとともに、先端技術ともいわれている「技術革新」の波が巨大な姿でわれわれの頭上に押し寄せていることについて、その経過と研究所としての取り組み方や対処している現実を知っていただくことも意義あるものと思われるので私見を述べます。しかし、とかく自分の専門分野に力が入ることについてはお許し願いたい。

先端技術に対応

中小企業のコンサルタント役

一、創設の経緯

昭和三十三年四月、機械・電気・化学・金属工学科と研究所を同時に創設する予定であったが、附置研究所は経費の関係から実現に至らなかった。その後、当時の工学部長であり、初代研究所長になられた田中晋輔先生のご尽力により、松下電器産業株式会社会長（当時）松下幸之助氏の協賛を得ると同時に、多額の寄付を得ることにより、昭和三十九年一月、鉄筋コンクリート六九六平方㍍二階建の待望の研究所が工学部本館横に設立されることになった。

大学の研究所であり、その名を「工学研究所」としてはという意見もあったが、敢えて「工業技術研究所」という名称になったのは、工業都市大阪をひかえた、特に中小企業の振興と育成を図ることを目的としたためであり、そのためには研究所がコンサルタント役として、関西大学関係の方々や卒業生の活躍している企業は勿論、一般企業においても参画し易い機関であるように名付けられた。

二、先端技術と研究所

わが国は戦後混乱時代より復興時代となり、更に新技術と共に高度成長時代に入り、化学工業プラントの輸出を始め、産業機械、造船、自動車、航室機材料においても先進国を凌駕するに至ったが、一方では環境問題等に社会問題を引き起こした。特に公害問題は今なお大きな教訓として残されている。また一九七三年、アラブ諸国の石油戦略で決定的な打撃を受けた日本は、物不足と同時にインフレなど社会的影響を受けるに至った。

しかし、社会状況は電子計算機による情報処理システム化に対処するコンピューター・ハードウエアの開発利用問題が台頭し、その大型化総合化の方向と、ミニコンピューターとしての小型化の方向との両極に向かって進められるようになってきた。その他、新エネルギー開発の必要性、新産業革命といってよい程多方面の新技術が叫ばれるようになったが、その間研究所は常に先進的に対応して来た。

先端技術を大別してみると、エレクトロニクス・先端工業材料（セラミックを含む）・バイオテクノロジー等が考えられる。

研究所において近年まで継続してきた電算機関係、および最近における研究所の活動状況について紹介すると、

（A）電子計算機室開設から情報処理センターの発足

昭和四十六年三月・文部省の研究助成を受け研究所内にファコム230―25システムを設置し、電子計算機室が開設され、五十二年十月ファコム230―38をレンタルで導入、更に五十三年十月、文部省の私立大学研究設備整備費等補助金を受けファコム230―48システムに置換した。

そして各学部より選出された運営委員会を置き研究面は勿論、教育・教務・事務などに利用面を開発することになった。開設よりこの段階まで誘導された前田・松山・高瀬・小川所長のご尽力は大変なもので、大学・法人の支援とご配慮を得ることができるに至った。

五十六年度、亀井所長時代に一部増築と同時に五十七年四月、電子計算機室を改組して、情報処理センターとして発足、初代所長に社会学部教授、辻岡美延先生が就任され、工業技術研究より分離、完全に独立するに至った。

かくて、研究所が情報処理センター発祥地ということになったのである。今後、有効利用によりセンターが益々発展されることを願っている。

昭和58・59年度刊行物

書名	刊行回数	頁数総計	1回の発行部数
技苑	8	504	800
工技研ニュース	8	78	800
先端工業材料調査研究報告書	2	60	300
資源・エネルギー研究会講演集Ⅱ，Ⅲ	2	140	300
稀薄エネルギー研究グループ研究報告書	1	29	300
先端加工技術調査研究報告書	2	193	300
ライフサイエンス調査研究報告書	1	160	300
古文化財保存科学研究会調査報告	2	100	500
バイオテクノロジー研究報告書	1	290	300

（B）最近における研究所の活動状況

研究所が最近実施した研究と継続中の主な研究ならびに業務について紹介すると

「高速ジェット流の噴出に伴う騒音防止に関する基礎研究」を五十二年～五十四年まで、「廃液の無公害処理に関する研究」について五十五年～五十七年まで「稀薄エネルギーの利用に関する研究」は昭和五十五年より五十八年まで実施した。

現在継続中の研究ならびに研究会がある。これには亀井前所長念願の「工業技術に関連した課題について異種専門分野の研究者の結集によるグループ研究を日本私学振興財団より私学研究助成金を得て行う」ことであった。これが実り、グループ研究等がある。

(1)先端工業材料研究グループ（私学振興財団助成）38人
(2)先端加工技術研究グループ25人
(3)バイオテクノロジー研究グループ（私学振興財団助成申請中）15人
(4)古文化財保存科学研究グループ15人
(5)人間・生体工学研究グループ8人

(1)資源エネルギー研究会 会長 横川親雄教授41人
(2)熱処理技術研究会 会長杉本孝一教授99人
(3)古文化財保存科学研究会 会長山田幸一教授30人
(4)ライフサイエンス研究会 会長 徳山泰教授32人

（C）特別講演会および技術座談会

専門家による講演会等により学部生、院生および教職員に対する教育を目的とし年十八回程度の割で開催している。

（D）研究成果の発表、機関の発行状況

（E）国際交流の充実および特別講演会。

国際交流の充実と工業英語教育を兼ねた特別講演を行っている。五十九年度においては招聘研究員として中国遼寧省、東北工学院の先生方を迎えたが評判もよく、今後益々予算の許す限り積極的に進める予定である。

（F）研究所の業務

(1)委（受）託研究―委託者の依頼に応じ実施する比較的長期にわたる研究・調査
(2)試験・分析―委託者の依頼に応じ実施する各種の試験・分析。
(3)技術相談―各科専門部門に関連する技術的な問題について相談に応じる。

（G）賛助員会制度

賛助員会制度要項に基き研究所の発展向上を図ることを目的としている。会員には学術講演会、研究会の通知や機関誌・技苑、工技研ニュースの配布などを行っている。

（昭和六十年二月現在）

60年度公開講座と産業セミナー

日程と講師決まる

関西大学経済・政治研究所主催の六十年度公開講座と同産業セミナーの開催要項がつぎのように決まった。

公開講座

◇場所 関西大学千里山第二学舎一号館A二〇一教室 時間はいずれも午後一時から二時半まで。聴講無料 受付は当日会場で行う。

▽三三回、六月十二日、鹿島臨海工業地帯の開発と地域経済への影響、小杉 毅経済学部教授

▽三四回、九月十一日、公共広告とヒューマニズムの精神、植條則夫社会学部教授

▽三五回、十月九日、ハイテクと21世紀、倉田忠雄工学部教授

▽三六回、十一月十三日、失業と社会保障、一圓光彌経済学部教授

▽三七回、十二月十一日、南北間の経済摩擦を考える 木田和雄商学部教授

産業セミナー

◇場所 阪急グランドビル二六階会議室 時間はいずれも午後一時半から四時半まで、聴講無料 申込みは関西大学経済・政治研究所（〒564吹田市山手町三―三―三五）へ、氏名・勤務先（その住所）電話番号記入の上、はがきで。受け付けた方には入場整理券を送る。

▽八八回、六月五日、職場の活性化とリーダーシップ―生きがいの心理学的考察を通じて――、広田君美社会学部教授

▽八九回、九月四日、日本経済の動向…工業、安喜博彦経済学部教授。日本経済の動向…農業、東井正美経済学部教授

▽九〇回、十月下旬、日米自動車摩擦、井上昭一商学部教授。経済摩擦についての一考察、吉信 肅商学部教授

▽九一回、六十一年三月中旬、営業許可制について、池田敏雄法学部教授、クレジットの構造と法律問題、沢井 裕法学部教授

◆カリフォルニアに連絡所

存外研究員として米国に滞在中、「校友会カリフォルニア支部」を結成するため高島屋勤務の吉野雅博氏（50学1経）辻野貫三氏（46学1商）らの協力で、新聞、テレビで呼びかけたところ、六～七人の校友が勤務などで滞在していることがわかり、三月二日、トーランヌ市の日本料理店「川福」で木村ほか三人が出席して懇談会を開いた。

校友たちは関大の卒業生のなかから海外勤務を希望する人が多数出て欲しい。それによって日本の関大から世界の関大になるのではないか、という声が強かった。カリフォルニアの連絡所は次の通り。

KANSAI UNIV.C.A. OFFICE
Takashimaya Co., Ltd.
MASAHIRO YOSHINO
800 South Figueroa #740 Los Angeles, CA. 90017
Phone (213) 629-3228

（文学部教授 木村章二記）

訂正 四月十五日付341号1面、『定年退職の4教授に名誉称号』の記事で、岩本慧名誉教授の略歴中、「文学部法律学科卒業」とあるのは「法文学部法律学科卒業」の誤りでした。

藤田 昇氏（非常勤講師）四月十三日午後六時、心不全のため死去。七十九歳。

沢田英一氏（4大予）四月十四日午前零時七分、肺がんのため死去。七十八歳。

吉川三郎氏（26学1法、元守口市議会議員、早苗幼稚園長）五月一日午前十時五十八分、肝不全のため死去。五十五歳。六月一日午後一時から早苗幼稚園で学園葬。

喫茶 ヘカ
地下鉄東梅田・日興証券ビルB1 電313―6774

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店 阪急三番街／ウメダ地下街／阪急32番街／ナビオ阪急／難波戎橋筋／ミナミ地下街／南OSプラザ／地下鉄住之江終点／江坂東急ビル／府道茨木警察北／高槻松坂屋／阪急川西能勢口駅前／国道171号西宮門戸陸橋西／阪急三宮駅西口／神戸ポートアイランド／堺高島屋
東京店 有楽町／渋谷／蒲田／池袋／新宿／荻窪／大森／北千住／八王子
横浜店 ヨコハマルミネ 浦和店 伊勢丹
津田沼店 イトーヨーカドー 新潟店 伊勢丹
札幌店 丸井今井本店 浜松店 松菱

商標 登録
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631―6565
641―1666(代)
641―6565
山本雅巳
（昭和53年大法卒）
特別割引券 関大 Ⓢ

運転免許は
校友がお世話する
〝大阪鶴見の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2-13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎（昭29.学2法）
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

営業品目
GKスチールサッシドアー製造販売
YKKアルミサッシ建具代理店
株式会社 合同建材鉄扉製作所
代表取締役 中橋紀司
（昭35学1経卒）
本社工場 大阪市鶴見区今津南2丁目6―20
電話 大阪 (06) 969―0771(代)
山陰営業所 島根県出雲市大塚町1021番地
電話 出雲 (0853) 21―1340

Construction Fastening Consultant'
CFC FASTENER
〈営業品目〉
建設用ファスナー類及び附属品の製造、販売、施工、コンサルタント、トンネル内装工事並びにその他工事の設計、施工
建設ファスナー株式会社
代表取締役 高田俊治
本社 大阪市北区西天満3―2―17
電話 (06)―363―4188(代)
支店 東京都港区東新橋2―4―10
電話 (03)―433―5611(代)
営業所
城北(03)963―8121代 名古屋(052)262―5411代 岡山(0862)72―4612
札幌(011)521―2592代 京都(075)312―4947代 広島(0822)91―6262
横浜(045)641―2371代 大阪(06)363―4126代 北九州(093)581―4857代
静岡(0542)82―0151代 神戸(078)671―3331代 福岡(092)461―2735

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長 朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1―3
☎(06)567―2111(大代表) 〒556
東京本社：東京都品川区南品川6―1
☎(03)450―2111(大代表) 〒140
工場：関西／芦原 平野 美原 東大阪
関東／品川 横浜 王子
営業所・関連工場：札幌 名古屋 徳島 広島 九州
営業品目：企画・デザイン 一般印刷 出版印刷
ビジネスフォーム 紙器 特殊印刷